



文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス(医学部・附属病院)
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

敦賀キャンパス(附属国際原子力工学研究所)
〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番33号

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育学部・工学部・国際地域学部)
TEL.0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務室 入学試験係(医学部)
TEL.0776-61-8246



<https://www.u-fukui.ac.jp>

福井大学広報センター

本学の許可なく、掲載の記事や写真等を複製・転写することを禁じます。

The background of the entire page is a photograph of a university campus. It shows a wide, paved walkway lined with tall, slender trees that have bright yellow-green foliage. In the distance, a tall, modern building with a white facade and vertical lines is visible against a clear blue sky with a few wispy clouds. The overall atmosphere is bright and clean.

UNIVERSITY OF FUKUI

VIEW BOOK 2019

地域を支え世界で輝く人に

福井大学は、一人ひとりの力を最大限に伸ばし
社会で活躍できる「真の力」を身につけられる大学です
世界と共生するための力と
地域に貢献できる力をここで学びませんか

Contents

地域を支え世界で輝く人に	01
未知への挑戦 切り拓く未来	02
教育県福井を支える	04
災害に立ち向かう力	06
世界と繋がる 世界が広がる	08
就職率10連覇達成の理由	10
学長メッセージ	12
教育学部	14
PICK UP CURRICULUM 教育実習	16
初等教育コース	18
中等教育コース	19
学びの特色	20
学生&教員メッセージ	21
附属学園 / 取得可能な教員免許状・資格	22
大学院	23
医学部	24
PICK UP CURRICULUM 地域ケア実習	26
医学科	28
医学科 学びの特色	30
医学科 学生&教員メッセージ	31
看護学科	32
看護学科 学びの特色	34
看護学科 学生&教員メッセージ	35
附属病院	36
工学部	38
GLOBAL IMAGINEER	40
機械・システム工学科	42
電気電子情報工学科	44
建築・都市環境工学科	46
物質・生命化学科	48
応用物理学科	50
附属国際原子力工学研究所(教養キャンパス)	52
国際地域学部	54
PICK UP CURRICULUM 課題探求プロジェクト	56
学びの特色	58
学生メッセージ	60
教員メッセージ	61
Campus Life	62
文京キャンパス Life Style	64
文京キャンパス CLUB & CIRCLE	66
松岡キャンパス Life Style	68
松岡キャンパス CLUB & CIRCLE	70
国際交流・留学	72
語学センター	73
就職サポート	74
卒業生メッセージ	76
学費・生活費・住まい・奨学金制度	80
アクセス	81

IMAGINE YOUR FUTURE



未知への挑戦 切り拓く未来

まだ見ぬ「革新」と「変化」への挑戦
新しい時代を創造する、最先端の研究によって
さまざまな未来が芽吹き始めています

窒化物パワーデバイスの研究

過熱する地球を冷ます 次世代半導体材料の開発へ 産官学共同の取り組み

人間の活動は「熱」を生み出します。化石燃料を燃やして内燃機関を動かしたり、発電機を回したり、ということは想像しやすいのですが、実は現在では半導体が発する熱が問題になっています。身近な電気製品では電源部分のインバータに冷却用のファンが必須になっており、自動車がエンジンから電気自動車に変わっても、現状ではやはりラジエータが必要です。このままでは、地球はどんどん過熱していきます。この問題を解決する新しい半導体材料として注目されているのが、GaN（ガリウムナイトライド=窒化ガリウム）です。従来のシリコン半導体に比べ、絶縁破壊耐性とエネルギー効率が格段に高いことから、次世代の半導体材料として大きな期待が寄せられています。工学部では、企業や官庁との共同研究を進め、窒化物パワーデバイスの実用化に向けた取り組みに注力しています。

西谷 高至 さん
工学部 電気電子工学科(現:電気電子情報工学科) 4年次
静岡県立焼津中央高等学校出身



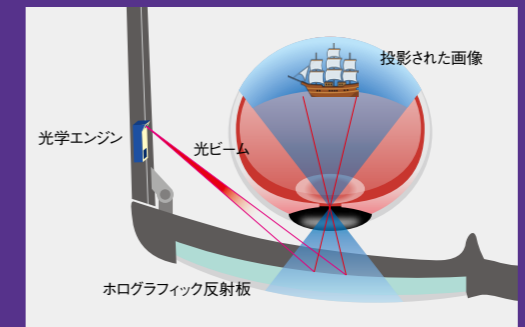
IMAGINE YOUR FUTURE |

IoT時代に不可欠な革新技術や、未来を担う子どもたちを支える臨床研究など、工学から教育まで幅広い分野の学びが未知の世界を開拓します。

スマートグラスの開発

世界初の超小型画像投影装置 網膜に直接映像を投影し IoT市場に新たな革命を

スマートグラスに映像を出力する「光学エンジン」を小型化すると、新しい映像の世界が実現します。眼鏡のレンズに映像を出力するのではなく、網膜に直接投影するスマートグラスには、大がかりな装置が必要です。現在、目指している米粒大の光学エンジンができれば、弱視の方の視力補助や医療・産業現場など活用の場が広がります。



子どものこころの発達研究センター

0~5歳児の成長を追跡 発達の問題点を早期発見し 子育てを支援

医学部のある永平寺町と連携し、保護者の同意を得て0~5歳の子どもの成長を追跡し視線計測や歩行分析などの方法で、発達障害を見極める研究を行っています。診断結果を分析し、問題点を発見できれば早い段階でサポートできます。地域に根ざした研究を基盤に、子どもの心のケアという大きな課題に向かっています。





教育県福井を 支える

教育は子どもたちの豊かな未来を築きます
福井大学では、毎年多くの教員を輩出し、次代を担う教育・研究や取り組みを進め
子どもたちをサポートしています

探求ネットワーク(学習過程研究/組織学習研究)

子どもたちと楽しみ、仲間と一緒に学び 教師としての実践力を身につける

探求ネットワークは、教育学部1年の選択必修の授業で、希望すれば3年次まで継続して履修することもできます。9つのブロックに分かれて、地域の子どもたちと8カ月間にわたって活動します。たとえば「ひらめき☆理科ブロック」では、理科の実験や観察、工作を行います。ポイントは、教えるというよりも、子どもたちと一緒に楽しむこと。まずは学生たちが自ら実験や工作を行って、どんなところが面白いのか、小学生が自分で作業をするのに無理なところはないか、確かめます。事前の準備も、本番も、試行錯誤の連続ですが、子どもとの距離感をつかみ、やる気のスイッチが入った瞬間を見逃さない、といった言語化しにくい教師としての感覚、暗黙知のようなものを身につけることができました。教育実習に臨むとき、そして実際に教職に就いたとき、この経験は大きな支えになってくれます。

小倉 良介 さん

教育地域科学部[※] 学校教育課程 3年次
福井県立藤島高等学校出身

※教育地域科学部は平成28年度に教育学部、国際地域学部に変更しましたが、平成27年以前に教育地域科学部に入学した学生は現在も旧学部にも所属しています。



IMAGINE YOUR FUTURE II

子どもたちが教育を受け、確かな学びを得られるように。さまざまなアプローチで
子どもの成長を支援します。

福井県内で本学出身の教員

40%

福井県の教員数の約4割!
全国トップの教育環境を支える
福井大学の卒業生たち

福井県の小・中・高、特別支援学校の教員の約4割が福井大学の卒業生です。地域の中核を担う教員の養成を行い、特色ある教育カリキュラムの充実と地域貢献活動の双方によって、小・中学生の学力の高さに定評のある福井の教育を支えています。

連合教職大学院の学校拠点

約60

拠点

現職教員の院生と学卒院生が
学校現場でともに学び合い
理論と実践を往還する

学校現場(拠点校、連携校)を学びの場とする本学独自の「学校拠点方式」。現職教員の院生や学卒院生が、世代を超えて学び合い、理論研究と現場での実践を重ね、教員の専門的力量を高めています。県域を越えた3大学が連合し、拠点校での教員養成教育を全国に展開させます。

災害に 立ち向かう力

幾度となく繰り返される災害に対し
大学が成せる知の力と技とは何か
ソフト、ハードの両面から挑戦を続けています



東日本大震災発生から約1カ月後、宮城県南三陸町のJR志津川駅周辺。本学教員らが被害状況の把握とともに、津波による浸食や到達高、堆積物の調査を実施した際に撮影。

災害看護学の挑戦

災害に立ち向かう力は
地域の人々の中にある
災害看護とは、その力を引き出すこと

東日本大震災のとき、私は中学を卒業する直前で、高校に入ってから、生徒会で募金活動を行うなど、何か自分にできることはないか、と考えていました。けれども、2年経ち3年経って、次第に震災の記憶が薄れていくことに焦燥感を抱いたことを憶えています。被災者に寄り添い続けるにはどうしたらいいだろう…。そんな時、福井大学医学部の大学院に、全国初の「災害看護専門看護師課程」が設置されたことを知り、自分の進路が決まったと確信しました。2016年4月の熊本地震では、本学からも被災地の阿蘇郡西原村に継続して看護師を派遣し、被災者のケアを行っており、私も現地に入って高齢化が進む被災地の厳しい現実を知るとともに、そこで活動する支援者の姿に胸を熱くしました。与えるだけの支援ではなく、住民の底力を引き出し、自立を促す。そんな看護を目指したいと思っています。

増田 和哲 さん

医学部 看護学科 4年次
智辯学園奈良カレッジ高等部出身



近年、地震や台風など、生活を脅かす大規模な自然災害が多発しています。人々が安全かつ安心して暮らせる環境のために大学の研究を活かし、「自然災害」に立ち向かいます。

災害看護専門看護師課程

災害によって起きる変化が
人々の生命や生活に与える影響
社会における看護の役割とは

日常生活が一変する災害。災害現場の急性期から仮設住宅など復興に至る段階まで、全ての人を対象にした看護活動を行える人材の育成を始めています。心肺蘇生やトリアージの技術だけでなく、心のケアや生活支援も担える幅広い知識が必要です。看護学科では「災害看護学」科目を、大学院では「災害看護専門看護師課程」を全国に先駆けて設置しました。



橋梁の安全点検システム

橋梁の安全をロボットが確認
ひび割れやコンクリートの剥離を撮影し
解析するシステムを開発

災害時の被害を軽減する、「防災・減災」の観点で研究開発を進めている橋梁点検ロボット「視(み)る診(み)る」。ロボットが撮影する静止画像から、幅0.1mmのひび割れでも検出できる上、これまで人の手でしていた検査が効率的に行えるようになりました。



世界と繋がる 世界が広がる

海外留学プログラムは40を超え
毎年200人以上の学生が世界へ通じる扉を開け
異文化への理解と学びを深めています



海外研修プログラム

グローバルに考える大切さを学んだ
密度濃い2週間

短期海外研修プログラムは語学研修にとどまらず、文化体験・交流、グローバル教養、専門分野の研鑽、実践・インターンシップ、研究・発表など豊富です。国際地域学部の課題探求プロジェクトとして参加した「日本とASEAN諸国のグローバル人材育成教育比較調査・研究」のプログラムでは、タイのアサンブション大学の学生寮に滞在し、同大学とマヒドン大学の授業を受け、日本企業の現地法人訪問も行いました。タイには多くの外国企業が進出し、大学には留学生も多く、ほとんどの授業が英語で開講されていますし、学生も世界で活躍したいという明確な意思と意欲を持っています。キャンパスの空気そのものがグローバルなのです。とても密度の濃い研修ができ、世界規模で考える視点を獲得することができた2週間でした。私も、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、世界的な競争と共生の時代に挑んでいこうと思いました。

相道 実冬 さん
国際地域学部 国際地域学科 2年次
仁愛女子高等学校出身



世界を舞台に、学び、体験する中で、地域・国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。現在、34の国と地域にある、146の機関*と大学間・部局間の交流協定を結んでいます。短期、中・長期の留学で国際感覚が身につけられます。

*2018年3月現在

ラトガース大学

アメリカで8番目に古い伝統校
ハイレベルな学習環境で
世界水準の学びを身につける

1766年創立のニュージャージー州立大学のひとつ。アメリカで8番目に古く、歴史と伝統に育まれた校風です。公共政策、法学、医学、工学、ビジネスなど31の学部を持ち、約49,000名の学生が学ぶアメリカ屈指の名門校として知られています。



ヴィータウタス・マグヌス大学

留学生が多く異文化交流が盛んな校風
小規模クラスでの授業運営で
学生一人ひとりの能力がアップ

バルト三国のリトアニアにある1922年設立の国立総合大学。芸術、社会科学、政治・外交、経済・経営学、法学などの10学部にて約9,000名の学生が学びます。1940年に外交官の杉原千畝氏が命のビザを発給した地として有名なカウナスに本部を置き、氏の功績をたたえる記念館で、長期インターンシップが可能です。





就職率10連覇 達成の理由

就職率が国立大学で10年連続1位
大規模な企業説明会や個別相談会など
細やかなフォロー体制で学生を徹底サポートします

企業の未来と自分の夢のマッチング

たくさんの人と話し
自分の世界を広げることで
キャリアの第一歩を

自動車が大好きで、学部では車のメカニズムについて学び、サークルもフォーミュラカー製作プロジェクト。でも、就職活動ではあえて業種を自動車メーカーに限定せずに、さまざまな会社の説明会に参加しました。人と話をすることが苦手だったので、とにかくたくさんの人と話すべきだと思ったし、自分の狭い世界を広げたいとも考えたからです。その結果、パナソニック株式会社が電気自動車の分野に取り組んでいることを知り、企業が目指していることと、私がやりたいことのマッチングができました。サークルやさまざまなプロジェクトで多くの人と協調して働くことを学んだのも、私の大きな財産。就職活動が始める前は不安しかなかったのですが、キャリア支援室のサポートにも勇気づけられて、積極的に動くことができ、この結果に繋がりました。

日下部 杏さん

工学部 機械工学科(現:機械・システム工学科) 4年次
洛南高等学校出身



大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する卒業生1,000人以上の国立大学の中で、10年連続就職率1位を達成しました。

合同企業説明会

5日間で480社、延べ1,373人!
大規模で開催される企業説明会で
学生の就職を徹底サポート

毎年開催する「合同企業説明会」。2018年3月は5日間で480社、延べ1,373人の学生が訪れました。また、学内個別企業説明会を年間200回開くなど、外部のセミナーに負けない規模で行っています。夏休みには県内外の企業を回る訪問バスツアーなども実施。公務員や教員志望者向けのガイダンスも随時開いており、手厚いサポートで学生を支えています。



カケるプロジェクト

学生が地域に触れるきっかけ作り
多彩なイベントやワークショップで
地元企業との接点を広げる活動

学生たちが福井の人や企業、地域の魅力に触れる機会を増やすべく、立ち上がった「カケるプロジェクト」。学生が県内企業と早い段階で接点を持ち、県内の企業に興味を持ってもらい、地域への定着を目標にしています。地元企業で活躍する社会人のトークセッションやワークショップイベントを開くなど、就職活動の選択肢を広げる活動が成果を上げています。



IMAGINE YOUR FUTURE V

日本そして世界の未来を切り拓く人に



学生一人ひとりの能力を伸ばす教育で就職率10連覇

今、世界は第4次産業革命のまっただ中にあり、情報通信技術や人工知能等の革新的技術開発が進んでいます。このような中、天然資源に乏しく、人口減少の影響が今後顕著になる日本にあっては、人こそが最大の資源で、優れた高等教育により一人ひとりの能力を高め、イノベーションを創出し、生産性を向上させねばなりません。福井大学はその役割を担い、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の全ての学部・大学院で、学生一人ひとりの力を最大限に伸ばす専門教育を実施し、優れた専門人材を輩出しています。その成果の表れとして、福井大学卒業生の就職率は、複数学部を有する国立大学の中でこの10年間、連続1位です。

世界とのコミュニケーション力と地域社会の課題解決力

グローバル化が進み、どの国も自国だけでは存立出来ません。異なる価値観や考えを持つ世界の人とコミュニケーションし、共生できる力が重要です。そのためのツールである語学力に関し、福井大学には英語を母国語とする英語教育専門家による学習プログラムや、自立的学習の設備や教材を使って好きな時間に自由に英語を学べる「言語開

発センター」等の、充実した学びの場があります。また、「国際ラウンジ」で各国留学生と交流し、様々な考え方や価値観に触れ、世界とのコミュニケーション力を磨くことが出来ます。皆さんの海外留学への様々な支援も用意しています。同時に、福井駅前の「大学連携センター（Fスクエア）」では、本学が責任大学として県内の4年制5大学が連携して実施する「地域創生」に関する授業を、他大学の学生と一緒に学ぶことが出来ます。多様な学生との交流は考えの幅を広げ、自己の確立に役立つでしょう。さらに、地域の様々な課題をフィールドワークやインターンシップを通して学び、座学だけでは得られない課題解決力を身につけることが出来ます。

真の力をつける福井大学で未来を切り拓く人に

福井大学は“真の力をつけられる大学”です。皆さんが自己を磨き、コミュニケーション力を高めて、世界と共生出来る力、地域創生に役立つ力を身につけ、未来を切り拓く人材に成長できるよう、教職員一同全力で支援します。

学長
眞弓 光文

入学者受入の方針

Admission Policy

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的な水準の教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成を理念・目標に掲げています。この理念・目標を達成するため、本学では以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

【求める学生像】

- ①高度専門職業人として地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
- ②高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、専門分野の基礎となる知識・技能を修得している人
- ③正確な文章読解、論理的な記述、適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
- ④豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を有する人

【入学者選抜の基本方針】

各学部においては、個々の特性およびアドミッション・ポリシーに応じて以上の観点を適切に選択し、かつ組み合わせられた入学者選抜を実施します。そして、各学部が求める能力・適性等を、多様な選抜方法・区分によって、公平かつ多面的・総合的に評価します。

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

福井大学は、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

①体系的な教育課程

国際通用性のある教育課程を編成し、学位の質を確保します。職業人の素養となる芯の通った学びと学生の関心に基づく多様性のある学びを両立するため、学内外の教育資源を有効に活用した必修科目・選択必修科目・選択科目を配置します。また、成長の道筋を明瞭にするため、意図の明確な科目区分を構成します。

②効果的な教育方法

それぞれの知識や技能の修得に適した授業形態を採用するとともに、他者と協働しながら主体的に課題解決に取り組む学習活動をバランスよく実施します。事前・事後学習を支援し、学修時間の確保にともなう単位の實質化に取り組めます。

③厳格な学修評価

明確な到達目標と透明性のある評価方法に基づき、各科目の成績評価を行います。カリキュラム全体を通じた達成度の評価についても、予め定められた基準を用いて多面的かつ厳格な評価を行います。

④改善のための教育評価

本学で実施する教育をより良いものとしていくため、教育の内容・方法・成果に対する組織的な評価と検証を行い、継続的な改善に努めます。

学位授与の方針

Diploma Policy

福井大学は、所定の年限在籍し、各学部の体系的な教育課程により学業を修め、地域、国及び国際社会に貢献し得る高度専門職業人として備えるべき以下の能力を修得した者に対し、学士の学位を授与します。

- ①確かな専門能力に裏打ちされた実践力
- ②実践的な言語運用能力を備えたコミュニケーション力
- ③地域から世界までを視野に入れて自ら行動できる人間力

教育学部

School of Education

専門性を高め、地域と連携できる教員に

教育学部には、「初等教育コース」と「中等教育コース」の2つのコースがあります。学校教育の多様な課題に向き合い専門性をもって取り組むことができる教員を育てます

入学者受入の方針

Admission Policy

【教育理念】

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

【求める学生像】

- ① 高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
- ② 人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を持っている人
- ③ 子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
- ④ 教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

教育課程の編成・実施の方針

学校教育課程では、公教育の担い手として多様な人々と協働しながら、学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援し、生涯にわたって学び続ける教師を育てるために、以下のような特徴を有する教育課程を編成し、実施する。

① 幅広い専門領域を担う教員組織と新しいカリキュラム開発

多様な教科や領域の教員が協働し、地域・社会の諸課題を視野に入れた授業やカリキュラムを開発する。また、地域との連携やグローバル社会を視野に入れた学校教育の重要性を考えることのできる人材を育成する。

② 実践と省察を繰り返す協働的な学習

子どもたちの成長と発達を促す実践への参加と省察を繰り返す学習経験を積ませる。全学年の学生が協働して探究することにより、専門職としての教師に求められる学習を積み重ねる。

③ 教科・領域の専門性を高めるための科目配置
教科・領域が成立する根拠や意義、歴史的背景への理解をベースに、教科・領域の目的・目標・内容・方法に関する専門性を培う。さらに各教科・領域のカリキュラム・単元・授業・教材・活動内容の提案、事例研究を行いながら、教科横断的、系統的な視野に基づいた学習を組織することができる実践の力を形成する。

④ 深い人間理解を促すための科目配置

人間の教育・心理に対する専門的理解を深めながら、就学前段階にある幼児や特別な教育的ニーズをもった児童・生徒の成長も視野に入れ、多様な視点から子どもの成長や発達を支援することができる力を形成する。

⑤ 学び続けることのできる教師の育成

学識形成の足跡を示す学びの履歴・成果をまとめることにより、世代継承サイクルを組み込んだ学習コミュニティを形成する。専門職としての総合的な能力を評価するために、協働探究のプロセスやそこで育まれた能力を把握し、学習個人誌を作成・公開する。

学位授与の方針

Diploma Policy

教育学部では、修業年限以上在学し、かつ教育課程編成の方針に基づいて編成された科目を履修し、共通教育規程および教育学部規程において定められた単位数を取得することにより、教科や教職の専門的・実践的力量ならびに公教育の担い手としての自覚と責任感を備え、以下のような能力を身につけたと認められる者に対して学位を授与する。

① 生涯にわたって学び続ける基盤

地域や学校における実践コミュニティの一員として、また学びの専門職として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける基盤を有する。

② 協働的な学習や探究的な学習の指導と評価

子どもたちが主体的・協働的に学習できるように、また教科・領域の特性に応じた探究的な学習を行うことができるように、教育の目的・目標・内容、および子どもの発達や地域・グローバル社会に関する知識に基づいて指導と評価の計画を立てることができる。

③ 教科・領域における重要な概念と探究の方法に関する理解

子どもたちの知的・社会的・個性的な発達を支援するために、各教科・領域における重要な概念と固有の探究方法、およびそれらを子どもたちが学習していくプロセスに関して深い理解を有する。

④ 民主的な集団活動の指導

学校や教室の社会的・文化的文脈を認識したうえで、子どもたちが平和で民主的な社会のあり方と人間らしい生き方について理解を深められるように、集団活動の運営方法を指導することができる。

⑤ 子どもたちの個性に応じた成長と発達の支援

人間の成長・発達について深い理解を形成し、子どもたち一人ひとりの個性に応じた成長と発達を支援することができる。

⑥ 学識形成の足跡を示す学習成果の公開

上記①から⑤の能力を裏付けるために、学識が形成された足跡を示す学習成果をまとめて、公開することができる。

PICK UP CURRICULUM

教育実習

まず、先生が楽しむこと
その姿が子どもたちの学びを触発する



教育実習では生徒たちを前に、実践経験を積み、時には反省点を糧に教育者としてスキルアップをしています。

生徒たちの自主性を引き出す

中学2年生に当たる附属義務教育学校8年生のクラス。今日は理科で「結露」の実験を行っています。「先週の台風で、すごく雨が降ったよね。雨って、どこから来ると思う？」実験のテーマに関心を持たせるために、教育実習生の堀江麻美さんが生徒たちに語りかけます。班ごとに分かれて着席している生徒たちは、早く実験を始めたくてうずうず。「できるだけ生徒たちの自主性を引き出していこうというのは、附属学校全体の方針です。特に実験などでは、教科書に載っているのと同じような結果が出ないとしても、生徒たちが『何でだろう?』と話合せて、自分たちで考察を深めていくように促したいと思っています」実験が始まると、理科室の中はとて賑やかになります。「先生、氷ってどこに入れるの?」「温度を測るのって、ここでいいの?」堀江さんに、生徒たちから質問が飛びます。「う〜ん、どうだろうね」堀江さんはすぐに正解を教えず、一瞬の間において、生徒たちが自分で考える時間を与えます。ここに、生徒を指導する“コツ”があるようです。

率先して面白い

「理科って面白い! 生徒たちが、そう感じてくれることが、いちばん大切だと思うんです。どんなとき、子どもたちの目がキラキラするのか、福井県児童科学館でスタッフとして働いた経験などから、私なりに学んできました」と堀江さんは言います。

福井大学には附属の義務教育学校と幼稚園、特別支援学校があり、教育実習校として学校の特色を生かした実践的な学びの場があります。教育学部の学生は、授業や実習以外にもさまざまな機会を捉えて熱心に児童・生徒とふれあっています。堀江さんも、探求ネットワークや塾でのアルバイト、福井県児童科学館での活動など、アクティブな毎日を送っています。教壇に立って科目を教えるだけでなく、さまざまな遊びや自然体験など、子どもたちと一緒に楽しむことを大切にしているのです。

「私自身が、学ぶことを楽しいと感じているかどうか。先生が内心“つまらないなあ”と思っていたら、子どもたちは敏感に見抜いてしまうと思うんです。教師として、いつでも発見する喜びを感じていたいし、その姿を子どもたちに見せていきたい」

教師自身が学び続け、成長し続ける…。教育実習を経て、堀江さんの中にそんな自覚が育まれてきたようです。



複数の教科書を読み比べ、ポイントをつかみます。そこから授業で使う教材を準備します。



事前に作成した学習指導案に基づいて授業を行います。学びや省察を実習記録にまとめ、指導教員からのアドバイスを求めます。



3年生は教育実習での学びをまとめた「学習個人誌」の報告会を実施します。1~4年生全体で共有し、語り合います。

堀江 麻美 さん
学校教育課程 3年次
福井県立金津高等学校出身



Interview
Movie!
Filesize: 60MB



初等教育コース

小学校、特別支援学校(学級)、幼稚園などの教員を目指す人

小中一貫教育や幼小連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。

- 実践的で協働的な課題探究型の授業を行います
- 小学校英語やICT教育、インクルーシブ教育などにも対応したカリキュラムを備えています
- 教育現場や教育連携機関等における実習が充実しています



サブコース	小学校教育 サブコース						特別支援教育 サブコース		
系	1系 (教科探究系)		2系 (子ども理解系)		3系 (学校・地域連携系)				
系・コース 共通科目	小中 カリキュラム 研究A	小中 カリキュラム 研究B	子どもと 人間関係	子どもと 環境 (2科目選択)	子どもと 表現	地域連携 カリキュラム研究I	地域連携 カリキュラム研究II	障害の判別・診断 とアセスメント	発達障害 教育総論
希望する 校種や教科	小中連携・一貫教育を担う教科の 専門性を身につけた小学校教員		子どもの発達や学習に関する高い 専門性を身につけた小学校・幼稚 園教員		地域社会と連携した教育を展開し、 地域の中で主体的に生きる力を育 成できる小学校教員		多様なニーズのある子どもへの専門 的な対応ができる教員		

中等教育コース

中学校、高等学校の教員を目指す人

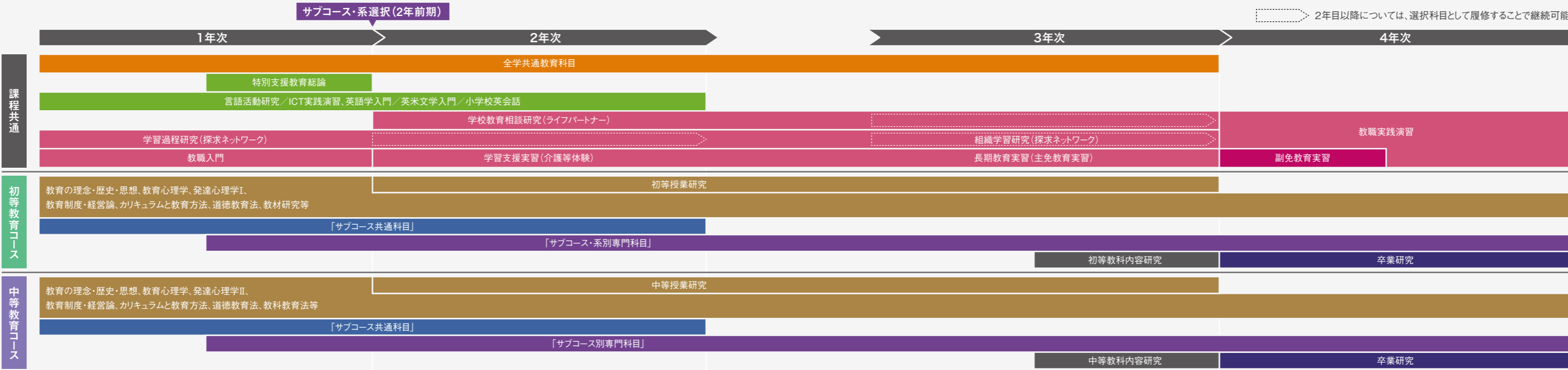
中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校教員を養成します。中学校および高等学校の免許は、必要な単位を修めれば取得できるように、各サブコースおよび各教科のカリキュラムを備えています。

- 課題探究型学習やアクティブ・ラーニングを活用した授業を展開します
- 各教科の教育内容及び指導方法を深く学び、専門性を高めめす
- 思考力、判断力、表現力を培います



サブコース	人文社会教育 サブコース		理数・生活教育 サブコース		芸術・スポーツ教育 サブコース		
コース 共通科目	人文社会科学概論A	人文社会科学概論B	理数基礎A・B	生活科学概論A・B・C (2科目選択)	身体と 創作表現A	身体と 創作表現B	身体と 創作表現C (2科目選択)
希望する 校種や教科	[国語]、[英語]または[社会科]の中学校・高等学校教員		[理科]、[数学]、[技術]または[家庭]の中学校・高等学校教員		[音楽]、[美術]または[保健体育]の中学校・高等学校教員		

4年間の学び



学びの特色



探求ネットワーク(学習過程研究/組織学習研究)

総合学習や特別活動の視点からカリキュラムの理解を深める「学習過程研究」の実践プログラム。紙すきや人形劇など9つのプロジェクトに分かれ、約8カ月間、地域の子どもたちと探求活動を行います。子どもや周囲との関わり方、組織の動かし方を学びます。



ライフパートナー(学校教育相談研究)

さまざまな問題を抱える子どもをサポートする実践プログラム。派遣依頼のあった小中学校や家庭に向き、支援を行います。遊びや勉強を教える活動と授業でのケースカンファレンスを繰り返しながら、子どもの心に寄り添う力を養います。



CST(Core Science Teacher)

地域の理科教育を支えるスペシャリスト(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)を目指して、様々な研修に取り組むことができます。



OEC(Overnight English Camp)

毎年英語科の1~3年生全員が学外施設において英語のみを使用しながら2泊3日の合宿を行い、英語運用力を鍛えています。

教員採用試験対策

一次試験から面接対策まで、専任の教員や客員教員が指導を担い合格へ向けた多彩かつ手厚いサポートを実施しています。



外部講師による筆記試験対策「教員採用試験対策セミナー」



模擬授業やピアノ実技を学ぶ「教員心得講座」



本番同様の条件で行う「集団討論対策講座」

「全体」と「個」2つを見る力 一人ひとり目を向けられる教員に

田中 夏音 さん

学校教育課程 2年次
福井県立武生高等学校出身

高校の教員をしている父親の影響や、「学校の先生、カッコいいな」という憧れ。そんな理由で、小学生の頃から教員を目指していました。教育学部に入り、授業で学び、教育実習を行った先輩の話を聞いて感じたことは「先生って勉強を教えるだけじゃない」ということです。子どもの生活面や精神面、友達との人間関係など、授業以外でサポートすべきことがたくさんあります。でも、そこがとても大事なことなんだと気づかせてもらいました。福井大学の教育学部では、1年生から子どもたちに触れる機会が多く用意されています。例えば、大勢の子どもたちと活動をともにする「探求ネットワーク」や、支援が必要な一人の児童生徒とじっくり向き合う「ライフパートナー」です。

探求ネットワークでは、小学生を連れてキャンプに行くプロジェクトに参加しました。企画や場所、時間の設定、子どもの安全確保など、本来なら教員になってから行うはずの経験をさせてもらって、とても有意義な学びとなりました。ライフパートナーでは、学校に行きづらい子どもの話し相手になり、「教室じゃなくてもいいから、図書館でおしゃべりしようよ」と、時間をかけて信頼関係を築いていきました。大人数と関わる経験と、個人をじっくりサポートする学びを経て強く思ったのは、「個人個人にちゃんと目を向けられる先生になりたい」ということ。難しいですが、がんばって挑戦してみようと思います。



PROFESSOR'S VOICE

現場で役立つ「実践力」を養う 「実感」を伴う学びを 子どもたちに

山本 博文 教授

専門分野:理科(地学)

教育学部の大きな特徴は、実践的な学びを多く取り入れていることです。実際に、教員になって現場へ出た時にやること、やるべきことを、できる限りカリキュラムに取り入れていきます。教壇に立ったとき、「どのように授業するのか」「どんな風に子どもたちとやりとりをするのか」、これらの視点をとても大切にしています。実践力を養う授業プログラムとして特徴的なのは、「探求ネットワーク」や「ライフパートナー」です。地域の子どもたちに来てもらって、また地域へ出向き、子どもたちと一緒に活動していきます。たくさんの子どもがいると、中にはじっとしていられない子や、学校になかなか行けない子も。「実際の現場とはこういうところなんだ」と1年、2年生のうちから体験します。

現場へ出向く機会が多く設けられていることは、本学部の強みであると考えています。また、教員として教えることは、学ぶ面白さを子どもたちに伝えることだと思います。そのためには何事もまず自ら興味を持ち、体験してほしいと思います。私が担当する理科は、例えば、生き物のこと、地層のこと、物質のこと…いろんなことに興味を持って、積極的に動いていく姿勢を身につけてほしいと思います。先生が面白いと思えないと、子どもにうまく伝わりません。自分で経験し、手を動かすことが大切です。実際に見て、触って、感じた体験は、深い理解へとつながります。子どもたちに学ぶことの楽しさ、そして実感を伴う学びを提供できる教員になってほしいと思います。



附属学園

少子化に伴う学校の統廃合やグローバル化等、校種を超えた21世紀の諸課題に立ち向かう教育研究開発校としての役割を果たすべく、全国に先駆けて、それまでの4校園を統合した附属学園となりました。また、平成29年4月には、義務教育として行われる普通教育を、基礎から応用まで一貫して施

すことを目的に、附属小学校及び中学校を統合して9年制の義務教育学校を設置しました。附属学園のもう一つの使命は、教員研修学校の役割を果たすことです。教育実習校から、教員の生涯にわたる職能成長を支える教員研修学校へと舵を切り、ますます大学・大学院との一体化を図ります。

幼稚園・義務教育学校・特別支援学校

子どもたちとともに活動することで
たくさんのことを学び、成長する

附属学園には、幼稚園・義務教育学校・特別支援学校があります。幼稚園では、幼児教育と子育て支援における地域の中核として、協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開します。また、働く保護者のための延長保育を実施します。義務教育学校は、前期課程6年と後期課程3年の9カ年の一貫した教育方針の下で学べる学校です。これまでの「知識伝達型」の教育から、課題に対応する力を育てる「資質能力育成型」の教育への転換を図り、「自主協同」の校訓のもと、教科での学びを最大限に活用した課題解決型の学習を全教科及び領域（特別活動など）で展開します。1学年から外国語活動を実施し、卒業までに実生活で使える英語の習得も目指します。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的障がい児が、将来の社会参加のために自分の特性を見つけ、伸ばしていく12年一貫の総合的教育を行っています。それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施します。また、インクルーシブ教育を推進するため他の附属学校の教員と協働した取り組みを進めます。



附属幼稚園



附属義務教育学校



附属義務教育学校の開校式の様子



附属特別支援学校のシンボル大壁画

取得可能な教員免許状・資格

教員免許状

コース	サブコース	小学校		中学校		免許教科	高等学校		特別支援学校		幼稚園教諭	
		1種	2種	1種	2種		1種	免許教科	1種	2種	1種	2種
初等教育	小学校教育(1~3系)	◎		○*	○*	国語、社会 数学、理科 音楽、美術 保健体育 保健、技術 家庭、英語	○*	国語、地理歴史	○	○	○	○
	特別支援教育	◎		○*	○*		○*	公民、数学 理科、音楽 美術、工芸	◎		○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○*	○*	美術、工芸	○	○			
	理数・生活教育	○	○	◎	○*	○*	保健体育	○	○			
	芸術・スポーツ教育	○	○	◎	○*	○*	保健、家庭 工業、英語	○	○			

- ◎.....卒業要件となっている免許
-必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。
- ※.....免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

(注) 所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

資格

学校図書館司書教諭 教員免許状に加え、必要な単位(10単位)を修得することで、資格が取得できます。

大学院

教育学研究科学校教育専攻

新たな学校教育の課題に見合う教職専門の資質と能力を身につけることに加え、高い教科専門性に基づいた実践的な授業づくりの能力と指導力を身につけ、学校教育における今日的な諸課題に包括的かつ柔軟に対応できる教員の養成を目指します。4つのコース(小学校教育コース、人文社会教育コース、理数・生活教育コース、芸術・スポーツ教育コース)には、コース別専門科目と課題研究、修士論文に加えて、必修科目「協働実践研究プロジェクト」を設けています。

協働実践研究プロジェクト

所属するコースを超え、大学院生と教員が附属学園や地域の小・中・高校の現職教員と協働して、現場指導に取り組む実践的な研究、活動のプロジェクトです。定期的、継続的な2年間の研究活動で、授業を想定した教科内容に関する知識を身につけること、授業計画力、授業実践力、教員としての協働性や課題探究力を身につけることを目的としています。大学院生は、基本的に、自分の専門に近い領域のプロジェクトを履修し、豊富な実践事例を組み込んだ包括的なカリキュラム提案にまとめて報告します。

小学校教育コース

教育学、心理学、小学校教科教育、インクルーシブ教育等の専門分野を基礎として、小学校教育の諸課題について研究を行います。

人文社会教育コース

国語、社会科、英語の各教科に分かれ、各教科の指導に必要な教科教育学や教科内容学について、高度な専門知識と優れた実践力を修得すべく、教科に関わるテーマについて研究を行います。

理数・生活教育コース

数学、理科、生活科学(技術)、生活科学(家政)の各教科に分かれ、各教科の指導に必要な教科教育学や教科内容学について、高度な専門知識と優れた実践力を修得すべく、教科に関わるテーマについて研究を行います。

芸術・スポーツ教育コース

音楽、美術、保健体育の各教科に分かれ、各教科の指導に必要な教科教育学や教科内容学について、高度な専門知識と優れた実践力を修得すべく、教科に関わるテーマについて研究を行います。

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科(連合教職大学院)

子どもたちが自主的に学び合い成長できる学校教育の実現には、子ども一人ひとりの学びと協働を支える教員の力量と実践力が不可欠です。そのため、本学が基幹校となり、特色ある3つの大学が協働し教職大学院を設置(平成30年4月設置)し、各々の実践研究を共有しながら、高度な専門的能力と優れた資質を有し、学び続けることのできる教員の養成を目指します。ここでは、本学が生み出した教育スタイル「学校拠点方式」を採用し、小・中・高・特別支援学校などの現場を学びの場としています。大学院生は拠点校のサイクルに合わせた長期のインターンシップを行います。また、現職教員の大学院生は勤務校を離れることなく学ぶことができます。学校が抱える課題に教員や大学院生が協働して取り組むことで、教員としての実践力やマネジメント力、専門職としての技量を培います。若い世代の教員を養成する「授業研究・教職専門性開発コース」、現職教員を対象とした学校での核となる教員を養成する「ミドルリーダー養成コース」、改革期の学校を支える管理職のための「学校改革マネジメントコース」の3つのコースがあり、世代を超えて学び合います。



学 位: 教職修士(専門職)
修 業 年 限: 原則として2年(1年を許可する場合もある)
必要修得単位: 学校における実習(10単位)、共通科目(20単位)、コース別選択科目(15単位) 計45単位以上

主題に沿って実践と研究を深める、3つのコース

授業研究・教職専門性開発コース

授業づくり・児童生徒の成長発達支援をはじめ、学校における活動の総体について、学びあう専門職コミュニティづくり、及びそれへの参加を通して学ぶ若い世代の教員のためのコースです。

ミドルリーダー養成コース

知識基盤社会に生きる力を培う授業をどう実現するか。多様な子どもたちの成長をどう支えていくか。学校における教師の協働の実践と研究が求められています。学校での核となるミドルリーダーのためのコースです。

学校改革マネジメントコース

アクティブ・ラーニング、チーム学校、コミュニティスクール、入試改善、そして学校の組織制度改革。山積する課題の中で、どのように改革の舵取りをしていくか、組織マネジメントの力が求められています。改革期の学校を支える管理職のためのコースです。

医学部

School of Medical Sciences

愛と医術で人と社会を健やかに

人々が日々の生活を健やかに暮らせるために己の知識と知恵を
捧げようと志す、徹底した無我の愛を貫ける医師と看護師に
最新の医学・看護学を学び、修練し
次世代の「医療」を開拓する研究を推進します

入学受入の方針

1. 医学部の理念

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛――

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛――

それは、病に臥しているようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた「杏林愛に芳しき」医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

2. 教育目的・人材育成目標

【医学部の教育目的】

福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の倫理を体得するとともに、高度に発展した世界水準の医学および看護学の知識を修得し、グローバル社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

●医学科

質の高い臨床能力と生命尊重を第一義とする医の倫理を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い資質を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

●看護学科

人間理解と倫理性を基盤とし、豊かな人間性と創造性を備え、高度な知識と技術をもち患者中心の看護を実践できる看護専門職および将来看護の分野で指導的役割を担うことができる人材を育成し、地域の保健医療の向上に貢献するとともに、看護学の発展につながる看護学研究を推進することを目的とする。

【学部教育の人材育成目標】

●医学科

- ①21世紀のグローバル社会において高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。
- ②優れたコミュニケーション能力と高い倫理観を備え、患者中心の医療を実践する臨床医を育成する。
- ③世界水準の能力と地域を見る目を養い、地域に根差した活動のできる臨床医を育成する。

●看護学科

- ①看護の対象となる人間を総合的に理解できる。
- ②高い倫理観をもち、看護の対象となる人間の権利を守る。
- ③健康に関わる諸問題の解決に必要な知識・技術を主体的に学び、創造する。
- ④関連領域の専門家と協力し、必要に応じて調整的な役割を果たす。
- ⑤看護を批判的に吟味し、建設的・創造的に発展させる。

3. 特色

●医学科

医学への学修意欲・医療へのモチベーションを高めるため、早期から人体解剖学などの基礎医学、早期体験実習などを導入しています。また、地方大学としての地域医療教育、プロ意識涵養のためのメディカルプロフェッショナリズム教育、さらに、問題解決能力を高めるための自学自習を導入するなど、医学教育の質の向上に常に取り組んでいます。

●看護学科

将来の職業選択に生かせるよう、選択科目の多い、ゆとりある教育を実施しています。また、医学部附属病院が主な実習病院であることから、最新の医療現場で充実した看護を学べます。

4. 求める学生像

●医学科

- ①医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を持ち、
- ②医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、
- ③医学・医療を通じて広くグローバル社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持った人を求めます。そして、
- ④先端的生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを希望する人や、
- ⑤医師として地域医療に貢献したいという人も求めています。

●看護学科

- ①看護に関心を持ち、将来看護職として、地域医療に貢献したいと考える人
- ②基礎学力の上になつて、人と地域社会に関心をもって学習に臨める人
- ③協調性がありコミュニケーション能力が高い人
- ④倫理的感性が高く、人間の尊厳と権利を重んじることができる人
- ⑤誠実な心を持ち、主体的で意欲のある人
- ⑥グローバル化が進展する社会に対応できる幅広い視野をもつことができる人

Admission Policy

教育課程の編成・実施の方針 Curriculum Policy

医学部の教育目標である「人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得するとともに、高度に発展した世界水準の医学および看護学の知識を修得し、グローバル社会で活躍できる医療人および研究者を育成する」ことを達成するため、医学科および看護学科で定めた人材像に沿った、本学医学部の特性等を積極的に活用しつつ、医学・看護学教育指針に準拠した教育課程を編成・実施します。

学位授与の方針

Diploma Policy

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、医師・看護師等に必要な医学・看護学の知識・技能・態度を有するとともに、医学科および看護学科で定めた卒業時まで修得すべき具体的な能力・技能等を備えた者に学位を授与します。

PICK UP CURRICULUM

地域ケア実習

病気を診る、人を診る
その人のバックグラウンドを診る



患者さんと直接お話し、細かな症状をヒアリングすることで最適な治療方法を導き出します。

地域医療は広角レンズ

福井県西端の高浜町。夏には海水浴客で賑わう美しい若狭和田ビーチの近くに、高浜町国民健康保険和田診療所があります。地域に医療を提供するだけでなく、福井大学医学部の実習協力施設として、多くの医学生、看護学生を受け入れています。スタッフ・設備とも充実した附属病院があるのに、なぜ小さな診療所で実習を行うのでしょうか。「もの見方の倍率が違うんです」と語るのは、和田診療所に医学部の分室を構えて地域医療の実践と研究を進める井階友貴教授。「身体の調子が悪くて医療機関にかかると、診察して、検査して、どここの臓器が悪いですよ。なぜその臓器が悪くなっているか調べて、たとえばウイルスが悪さをしています、とか、細胞のこういうところが悪いですね、という具合に、どんどんミクロの方に向かっていく。現代の医学は、そういう風に発展してきたわけです。ところが、地域医療の現場では、それだけではやっていけない。患者さんや、家族にどういう背景があって、病によってどういう体験をしているのか。いわば広角レンズで生活全体を診る視点が必要になってくるんです」

チームの一員として

医療者としての“人間力”が問われる現場だけに、実習に来ている学生たちは、さぞや厳しく鍛えられているに違いない…と思って、毎日の終わりに行われている“振り返りの時間”をのぞいてみたら、そこは思いのほか和気藹々とした雰囲気でした。「地域医療っていうのは、診療所の医師がなんでも一人でやらなければならない大変、というイメージがあったんですが、現場は、医師だけでなく看護師や介護士、ケアマネージャーなど、多職種の方が連携して一人の患者さんをケアするフラットなチームだと思いました。僕も、見習いではありますが、そのチームの一員として扱ってもらえるんだなって」と語るのは、医学科の大島慎太郎さん。看護学科の橋口智香さんは、「病気のことは、やはり医師がいちばんわかっているけど、看護師は患者さんと一緒にいる時間が長いし、患者さんも話しやすいということもありますよね。地域医療では、患者さんのバックグラウンドを理解することがとても大事で、看護師にできることは、私が想像していたよりもたくさんあると思いました」と、大切な気づきを得たようです。彼らがどのような医師、看護師を目指していくのかはまだ未知数ですが、ここで地域医療の現場を経験したことは、これからの長い医療者としての人生に、ある“深み”をもたらしてくれるに違いありません。

井階 友貴 教授
高浜町国民健康保険和田診療所内
医学科 地域プライマリアケア講座

大島 慎太郎 さん
医学科 5年次
兵庫県立神戸高等学校出身

橋口 智香 さん
看護学科 3年次
福井県立金津高等学校出身



Interview
Movie!
Filesize: 60MB



実際に患者さんと触れあうことで学内実習だけでは知り得ない貴重な体験ができます。



今日1日で気づいたことや分からなかったことなどを医療スタッフと振り返り明日の実習に生かします。



医師の指導のもと学生が診察を行い緊張感のある実習を通して成長していきます。

医学科

高度な臨床能力・研究能力を身につけた人間性豊かな医師に

急速に発展し続ける医学領域では、学生が身につけなければならない知識量が膨大になり、医師に求められることも多様化しています。社会のニーズに対応できる質の高い医師を養成するために、本学科では、文部科学省によるガイドライン「医学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した統合カリキュラムを実施しています。さらに平成28年度から世界医学教育連盟の定めるグローバルスタンダードに準拠するために策定された医学教育分野別評価基準日本版に沿ったカリキュラム編成を行っています。医学導入から

準備教育と基礎医学、基礎臨床医学と臨床研修までの一連を学ぶ6年一貫教育を実施。1年次から病棟看護体験実習や人体解剖学、メディカルプロフェッショナル教育で高度専門職業人としての意識を醸成します。また、研究マインドを涵養するための、医科学研究研修を1年次から取り入れています。研究に興味を持つ学生には、早期にかつ継続して研究に参加する機会を提供します。



謙虚な心と豊かな人間性を育む

医学部は「生命」を学ぶ学部であり、第一に求められるのは人間性です。周囲との協調性や奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、医療に従事する覚悟が必要です。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を養成します。



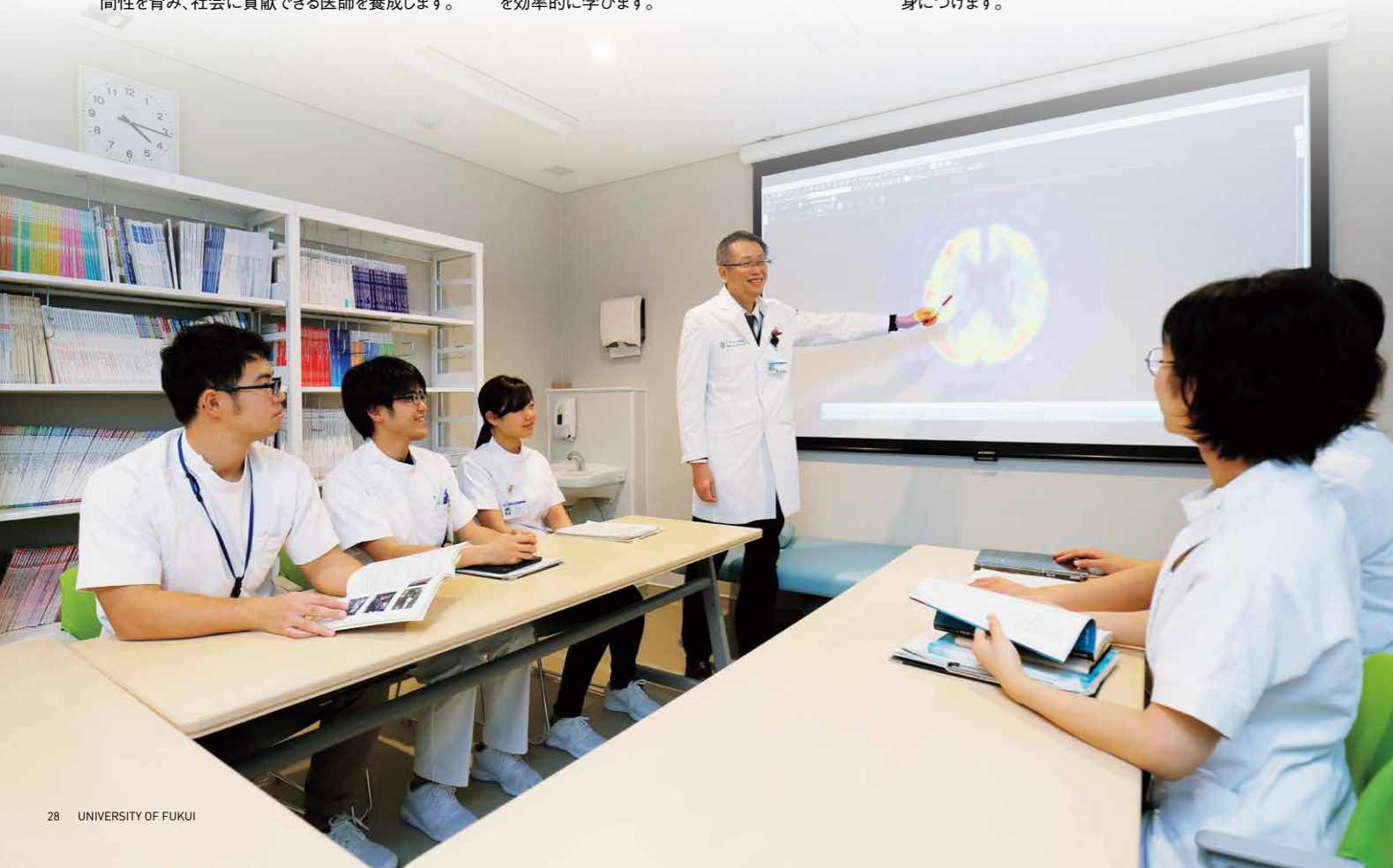
臨床を見据えた効果的な学習

医師としての社会的責任を1年次から自覚し、医学準備教育、基礎医学を取り入れ、臨床を見据えた6年一貫教育を行います。全教員が参加して講義を行い、それぞれの専門領域の基本から最新の動向を効率的に学びます。



周囲と連携し行動する力を養う

臨床において欠かすことのできない多職種連携について、看護学生との合同講義や合同実習を通してコミュニケーション能力と社会性を養い、常に問題を提起し、広く意見を求めて、探究、解決する能力を身につけます。



医学科 カリキュラム

文部科学省のガイドラインに沿って、カリキュラムを効率的に編成。

1年次から医学導入と基礎医学を並行して学び、医師としての自覚、責任感を醸成します。

また、医学教育分野別評価基準日本版に沿って、講義時間数を減らし、自学・自習と臨床実習の時間を増やします。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次(前期)	4年次(後期)	5年次	6年次	
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー						
	基礎教育科目	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV					
		保健体育科目	スポーツ健康科学					
		情報処理基礎科目	情報処理基礎					
	地域コア科目群	地域コアI、地域コアII、地域コアIII						
共通教養科目	哲学の人間学、芸術学、歴史学、文化人類学、法学(日本国憲法) 医療経済学入門、社会学、教育学、基礎物理I、基礎物理II 基礎化学、教養特別講義、総合教養ゼミナールなど							
専門教育科目	医学英語	医学英語I、医学英語II	医学英語III、医学英語IV		実用医学英語I	実用医学英語II		
	メディカルプロフェッショナル	医学入門、健康科学 生命倫理学I、生命倫理学II コミュニケーションとチーム医療I	コミュニケーションとチーム医療II	医の原則 死と法	コミュニケーションとチーム医療III 医療における安全性への配慮と 危機管理		メディプロ総合演習	
	地域医療	地域医療テュートリアル	地域医療学	地域医療学実習 社会と医学・医療I	地域医療学 社会と医学・医療II	社会と医学・医療II		
	基礎医学	行動科学I、行動科学II 基礎生物学、生命現象の科学 人体解剖学	生体物質の代謝 遺伝情報の維持と発現制御 細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能 画像解剖総合演習 個体の調節機構とホメオスタシス 中枢神経系の機能と構造 個体の発生、生体と微生物 生体と動物、免疫と生体防御	生体と薬物 原因と病態				
		基礎臨床医学1		血液・造血器・リンパ系 神経系、皮膚系 運動器(筋骨格)系 循環器系、呼吸器系 消化器系、腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系 眼・視覚系、精神系	耳鼻咽喉・口腔系			
	基礎臨床医学2		ライフと放射線	放射線・電磁波の医療応用と防護	遺伝医療・ゲノム医療 感染症、腫瘍 免疫・アレルギー疾患 救急医療・緊急救急医療 成長と発達、加齢と老化			
	診療の基本				症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 画像・放射線を用いた診断と治療	基本的診療技能		
	臨床研修					診療参加型臨床実習I	実践臨床病態学 診療参加型臨床実習II	
	医科学研究研修	医療統計学I	医療統計学II	研究室配属 アドバンスト医科学研究コースII				
		研究実践初級コース、研究実践上級コース、アドバンスト医科学研究コースI						

※1年次から4年次のどの学年からでも受講可能

CBT・OSCE

科目紹介

■メディカルプロフェッショナル

医師として要求される社会的責任や地域、他職種との連携について1年次から6年次にわたって学びます。医師は社会から何を求められ、どのように応えていくのかをプロフェッショナリズム(専門職業意識)の観点から考察します。

■医科学研究研修

研究実践初級、上級コース(選択)では、医学研究に参加する機会を提供します。アドバンスト医科学研究コースI(選択)では、歴史上のマイルストーンとなった研究論文を深く読み解き、科学的思考法を養います。どちらも1年次から4年次のどの学年からでも受講ができ、医学研究への興味を持った時点で最新の医科学研究を体験できます。さらに3年次の研究室配属(必修)とアドバンスト医科学研究コースII(選択)においても、医学研究に参加する機会を提供し、研究マインドを涵養します。

■CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。後期から始まる臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価し、合格者はStudent Doctorに認定されます。CBT(Computer Based Testing)では、多肢選択型試験で医学知識の理解度を評価し、OSCE(Objective Structured Clinical Examination)では、実技試験により臨床技能が試されます。

■臨床研修

診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ)は、本学独自で開発したICTシステムABS-LMS(ベッドサイド・ラーニングマネジメントシステム)を用いて行います。これにより、電子カルテの作成を含めたより実践的な臨床能力を、より深く、より楽しく学べます。システム搭載の振り返り機能により、実習での経験と学びをより確実に身につけます。

学びの特色



診療参加型臨床実習

医師免許取得前から医療チームの一員として診療に参加し、現場実習を重ねることを目的として開発した大学独自のICTシステム「BS-LMS」。学生用電子カルテと連動し、患者さんを診察して本番用カルテながらにその所見を記載する訓練が可能です。システム上で指導医と「LINE」感覚でやりとりができるため、日々の疑問点や質問を提示し、速やかに解消することができます。



解剖学習

1年次の6月から解剖学の講義がスタート。10月からは約3カ月に渡り、人体解剖学の実習が行われ、筋肉や臓器などあらゆる部分を自らの手に取って調べ学んでいきます。「人の体を知る」という医学の基本を学ぶことで、医学を志す学生への高い意識付けを目指します。1年次から解剖学実習を履修するのは全国的にも珍しく、福井大学医学部カリキュラムの大きな特徴でもあります。



「見つけ出し、考える力」を養う

医師は患者の診断に際し、何百枚とある画像の中から小さな病変や病気の可能性を発見しなければなりません。福井大学では「形」から病気を見極める形態学教育に力を入れており、「見つけ出し、考える力」を大切にしています。これらの力を養うためにCTやMRI画像、組織・病理画像などを電子カルテから取り出しデータベース化し、学生たちの臨床診断実習に役立てています。

STUDENT'S VOICE

「チームワーク」と「共感力」 教科書には載っていない 研修での気づき

石田 侑希也 さん

医学科 5年次
滋賀県立彦根高等学校出身

実家が病院ではありませんし、「医者になりたい」と思ったきっかけのようなものは特に記憶にないのですが、幼い頃から心に決めていて、小学校の文集にもそう書いたほどです。高校生になって医学部受験を具体的に考え始め、浪人の末、福井大学に合格しました。大学では時期によっては1〜2週間に1回のペースで試験があり、入学後も勉強の日々が続きました。そして5年生になると病院での実習へ。教科書で学んだことを実践しながら、現場の先生方から直接指導を受けています。そこで気付いたのは、医師は1人ではないということ。診断を出すときには、いろいろな検査結果を見て、他の医師からも意見を聞きます。ドラマのように、簡単に結論は出ません。医師たちが協力し合って、

懸命に試行錯誤している姿を目の当たりにして、医療とはチームで行うものだ実感しました。また、患者さんと関わるようになって、「共感」の重要性も感じています。実習が始まるまでは、「医者目線」で物事を考えがちだったのですが、医師と患者、両方の立場で考えることが必要であることがわかってきました。患者さんの話をよく聞いて、医師として説明する。そうしないと、私の言うことに共感してもらえません。これは経験を重ねるなかで、身につけたいと思っています。受験に失敗したことは辛い体験でしたが、「医者になりたい」と思い続けたのだからと、頑張りました。そして今があります。医学部を目指すのなら、とにかく諦めないでほしいです。

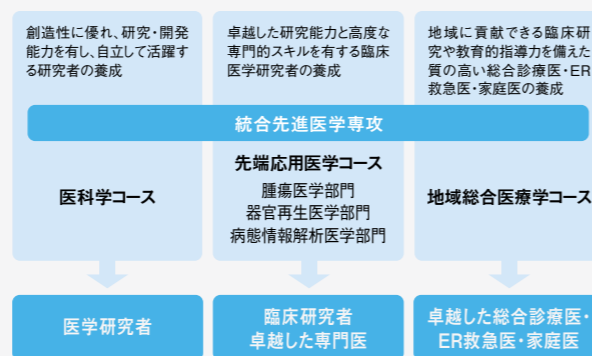


[大学院]

医学系研究科 統合先進医学専攻 (博士課程)

世界レベルで活躍できる 優れた創造性と研究・開発能力を育む

「医科学」「先端応用医学」「地域総合医療学」の3コースで、高度な知識及び科学的・論理的思考に基づき学びます。独創性・創造性に優れた研究を遂行し、国際的にも活躍できる自立した研究者を育みます。各診療分野で優れた臨床研究能力と先端的で高度な医療技能を備え、高い倫理観と研究マインドを持った臨床医、及び地域に貢献できる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医、ER救急医、家庭医を養成します。



5大学大学院連合小児発達学研究所 福井校

平成23年度に開設した「子どものこころの発達研究センター」と附属病院の「子どものこころ診療部」を中心に、大阪大学を基幹校とする「連合小児発達学研究所」に参画し、大阪大学大学院「大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所」福井校を開校しました。「教育」「研究」「診療」を3つの柱として、自閉スペクトラム症など、子どものこころの問題に対して専門的に取り組む体制が整っています。



PROFESSOR'S VOICE

研究と臨床、医学の両輪を学び 地道な努力を 大切にできる医師に

五井 孝憲 教授

専門分野: 消化器外科学

基本的な外科手技から難易度の高い手術技術の早期の習得に加えて、基礎研究と臨床との橋渡しをする「医科学研究研修」にも力を入れています。医学科では6年間、国家試験に向けての勉強が続きます。学生たちにできるだけ早く臨床に触れる機会をと、3年次で臨床の教室に所属する形を取っています。早いうちから現場を経験することで、自分のやるべきこと、やりたいことが見つけられますし、研究と臨床、その両方をやらなければ、医学は進歩しないということを肌で感じてもらえると思います。医師に必要な技術はたくさんあります。しかもその一つひとつが、以前よりも“深く”なり、常に研鑽が必要です。そのため、最新のシミュレーターが揃い医療技術を習得できる「メディカルシミュレーションセンター」を併設しています。学生たちはこのセンターで、

セミナーや技術研修に参加し、希望すれば24時間好きな時間にトレーニングができます。一生懸命取り組み始めれば、在学中に多くの技術を身につけることができます。私は「日々の積み重ねが患者さんの幸せにつながる」と、学生たちに話しています。例えば、患者さんに接して気が付いたことをメモに取り、後で見直して翌日に生かす。そういった小さなことが、新しい治療法の発見や患者さんの気持ちがわかる人間味のある真の医師への成長に繋がります。医療技術が進歩しても、治らない患者さんに出会うこともあります。その時きっと、研究の必要性を感じるでしょう。そういった意味でも、研究ができ、患者さんを診ることもできる環境に身を置くことが有意義だと思います。



看護学科

多様化する社会のニーズに応える専門的な看護力を

自らの資質向上を目指し、学び続けるために必要な基礎的能力と、多様化する社会のニーズに応えるための専門的な看護力と実践力を養成します。地域への理解を深め、「臨床」と「地域」の多職種連携によるチーム医療において看護実践能力を発揮するため、効率的かつ充実したカリキュラム

を編成しています。大学教育入門セミナーでは、高校から大学での学びの変化を学習し、社会人としてのマナーも学びます。また、看護師や保健師、助産師として社会へ出た後もスペシャリストとして学び続け、高度で実践的な看護能力を身につけるための基礎教育を強化しています。



多彩な教員陣と多様なカリキュラム

医学科を加えた多彩な教員陣が講義や実習を担当し、それぞれが目指す看護職を明確にできる多様なカリキュラムとなっています。実習機関である附属病院では最新の医療について、経験豊富な現場スタッフから学ぶことができます。



成長し続けるための基礎的能力の育成

「看護とは?」の視点から、コミュニケーションの取り方や看護の展開方法など基本的な技術を学びます。また、学年主任、アドバイザー教員と先輩の学生が小グループを編成し、大学での学びを支え、今後、社会に出てからも学び続ける基礎力を養います。



様々なフィールドで活躍する

病院での中心的存在として、また企業や地域においては従業員や住民の健康管理の担い手として、様々な役割が求められています。卒業後は、看護師、保健師、助産師として多様なフィールドでの活躍が期待されています。



看護学科 カリキュラム

地域への理解を深め、臨床において必要な看護実践能力を効率的に身につけることができるカリキュラムを編成。チーム医療を見据え、講義、実習においては医学科との共修を実施しています。患者の機能障害別に急性期から回復、慢性期へと一連の流れの中で患者理解を図れるカリキュラムとなっています。また、社会のニーズに応え、高度実践看護の基礎教育の強化を図るため、「災害看護学」「がん看護学」を学びます。海外での学びを支える、専門的な看護英語を学ぶこともできます。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	情報処理基礎			
	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV			
	保健体育科目	スポーツ健康科学			
	地域コア科目群	地域コア科目I・II・III			
共通教養科目	教養教育科目群	心理行動科学、生命倫理学Iなど			
		哲学的人間学、法学(日本国憲法)、生命倫理学II、教育学、社会学、統計学など			
		医療経済学入門、芸術学、歴史学、教養特別講義など			
専門基礎科目	看護外国語			看護英語I、看護英語II	
	生命基礎科学	生命基礎科学(化学、生命科学、物理学、生物学入門)生命基礎科学実験(化学、物理学)			
	健康科学	健康科学論、形態機能論I・II・実習生体反応論I・II・実習	薬理作用論、疾病論I・II健康増進論、成長発達論	心理測定論	
	環境科学	環境科学論	疫学、保健統計論	保健医療福祉論I・II	
専門科目	基礎看護	看護学概論、日常生活援助論など	看護過程論看護コミュニケーション論など	看護倫理など	看護管理
	健康時の看護		公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護展開論I・II公衆衛生看護管理論など	学校保健論、産業保健論助産学I・IIなど
	健康障害時の看護		成人看護学概論、母子看護学概論精神看護学概論、老年看護学概論など	災害看護学	
	臨床実習	基礎看護学実習I	基礎看護学実習II	各論実習(公衆衛生看護学実習含)	助産学実習
卒業研究				卒業研究	

科目紹介

■ 大学教育入門セミナー

高校までの「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に行い、演習やグループワークを通して看護職に就くことへの心構えを持ち、主体的に取り組むことを目指します。

■ 臨床実習

附属病院をはじめ県内各病院や診療所、地域の施設で臨床実習を行います。実際の現場での患者さんの一日の活動を、実習を通して学び、看護理論の理解を深め、チームの一員として連携・協働する能力を身につけます。また、海外病院の見学、研修を選択することもできます。

また、社会的ニーズが高まっている多職種連携の在宅医療を担う看護師教育を充実させるため、プライマリケア、地域医療を実践している施設で医学科学生と共修で実習を行います。学生時代から学科を超えてともに学ぶことで「チーム医療」に対する意識を養います。

学びの特色



臨地実習(各論実習)

3年次の9月から4年次の7月までの約11カ月間、附属病院や県内各病院や診療所、地域の施設などで臨地実習を行います。実際に患者さんを受け持ち、看護師の仕事の間近に見ることで看護ケアに必要なスキルと心を養います。また実習を通して看護理論への理解を深め、チームの一員として連携・協働する能力を身につけます。海外病院の見学や、研修を選択することも可能です。



助産師課程

国家試験受験に必要な学習を1年次から行い、4年次では専門科目を講義・演習・実習で学びます。病院や助産所で行う助産学実習では、リスクのない妊婦の分娩介助を10例ほど実施。命の誕生を体験します。また1組の夫婦の妊娠後期から産褥期に関わり、安心、満足できる出産のためのバースプランづくりに取り組む実習も行っています。



保健師課程

本学の保健師養成は選択制です。グループワーク、地域に実際に赴くフィールドワーク、発表会など学生主体の授業を幅広く行っています。特に3年次からの公衆衛生管理実習は大きな特徴で、保健所や保健センターなどで、地域の抱える健康問題について事業計画を立て、地域ケアシステムについて行政にプレゼンテーションするなど、健康政策の現場で役立つ思考力や判断力を養います。

コミュニケーションを大切に 患者さんに寄り添える 看護師を目指します

井上 月那さん

看護学科 2年次
福井県立敦賀高等学校出身

中学生のころ、専門学校の看護師体験に参加しました。そのとき看護師さんが「患者さんから感謝してもらえるのが喜び」と言っていたことが印象に残っています。もともと人と接するのが好きで、「いい仕事だな」と思ったのが、看護への道を選んだきっかけです。今は、講義や実習で基礎的な知識や技術を学んでいます。学生同士で採血の練習をするのは、最初とても怖くて緊張しました。でも、技術を磨くには実践あるのみと思い、仲間と励まし合いながらがんばっています。また病棟実習では、いろいろな患者さんがいて接し方に戸惑いました。担当についての患者さんの話し相手になろうとしたら「もういい、ほっといて!」と言われたことも。でも何日か付き添っているうちに、少しずつ自分の病気やお孫さんのことを話してくれるよう

になりました。嬉しかったですね。

授業以外ではサッカー部のマネージャーとして、医学部の仲間たちと活動しています。附属病院での看護補助と飲食店のアルバイトもしているので、とても忙しいですが、学内外ともに充実しています。

3年次になると、より高度な実習が始まり、今以上に毎日大変になりますが、かつて聞いた看護師さんの言葉通り、患者さんから「ありがとう」と言われるのはこの上なく嬉しく、やりがいを感じます。看護師は、患者さんが医師には言いつらいことを話せる身近な存在。近くにいるからこそその細かい気づきがあり、その情報が患者さんを助けます。忙しくても患者さんに寄り添って、コミュニケーションできる看護師になりたいです。



[大学院] 医学系研究科

看護学専攻(修士課程)

看護学の基盤となる幅広い知識と 技術の修得と実践、研究能力を育む

幅広く高度な看護理論、技術を持ち、看護職のリーダーとなる人材や、指導的役割を担う優れた教育・研究者、および国際社会に貢献できる人材を育成します。看護大学卒業生、および3年以上の経験を持つ看護師・保健師・助産師を対象に、専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)の教育課程を選択することのできる「災害看護学」コース、「がん看護学」コース、「老年看護学」コースも設置しています。



看護キャリアアップセンター

高度化、専門化する看護ニーズに応え より質の高いケアができる人材を育成

変動する社会環境の中で、高度に専門化する医療・看護の社会的ニーズに応え、より質の高い看護ケアを提供するため、看護職のキャリアアップ支援に向けた教育を目指しています。看護師の生涯学習の支援と看護実践能力の開発を目的とした「人材育成担当」、高度化、専門化する現場に必要な熟練した看護知識・技術の提供を目的とした「認定看護師担当」の2部門体制でそれぞれ教育を行っています。



PROFESSOR'S VOICE

医療の現場で役立つ 確かな看護能力と豊かな人間性を 養うステージです

上原 佳子 准教授

専門分野: 基礎看護学

今、医療の現場では、医師、看護師、薬剤師、理学療法士など多職種が連携して治療にあたるチーム医療が重要視されています。本学では、医学科と看護学科の学生が授業やサークル活動などを一緒にやり、地域ケア実習では、両者がチームになって地域の医療を勉強します。パートナー的存在である医師と看護師が、学生時代から良い関係を築けるのが特徴です。

実習は、医学部と同じ敷地内の附属病院で行うことが多く、慣れ親しんだ環境でリラックスして取り組めることや、学内授業において附属病院の認定看護師や専門看護師がリアルな現場の話など高度な医療に関する講義を行ってくれるのも大きなメリットです。4年間で確かな看護技術が身に付くカリキュラムを設けていますが、大学院修士課程への進学や、看護

師経験を積んだ後でのがん看護学・災害看護学の専門看護師課程、慢性呼吸器疾患看護・手術看護の認定看護師教育課程もあり、キャリアアップできる環境も揃っています。指導の際には、挨拶をする、約束を守るなど、人として守るべき決まりごとを大切にしよう求めています。それが将来的には患者さんや同僚との人間関係の基盤になるからです。

日々変化する医療の現場で、看護師は経験だけでなく、理論や知識に基づいた看護を行うことが必要です。チーム医療の場では、看護師は「コーディネーター」役。他のメンバーと対等にディスカッションできる能力を身につけてほしいです。そのためにも大切なのは、常に自己研鑽を重ねて自分をアップデートすること。理論や知識のしっかりとした根拠のあるケアが、患者さんにとって本当によい看護に繋がると 생각합니다。



附属病院

最先端の医療を実践し地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指す

附属病院は600床を有し、28の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設、11の部・センターからなる県内唯一の特定機能病院です。併設する高エネルギー医学研究センターとともに、一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や先進医療について、研究・実践しています。また、基本理念である「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を実現するために、平成22年度に開始した病院再整備事業が平成30年4月末に完了しました。「優れた地域医療人を輩出するハイクオリティメディカルセンター」を基本理念とし、より一層の地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指します。



ハイクオリティメディカルセンター

快適・安全な医療空間の提供

プライバシーに配慮した療養環境の構築、患者・家族のニーズに対応したサービスの提供、医療事故や院内感染の防止体制の強化を図り、患者さんには今まで以上に快適・安心な入院生活を提供します。

揺るぎなき地域診療拠点

病棟は、フロアごとの臓器・疾患機能別センターとし、集学的診療体制による治療効果の向上を図り、急性期医療への対応やがん拠点病院として、機能・連携強化を進め地域医療の中核として診療機能を充実します。

福井ブランドの先進医療の開発・実践

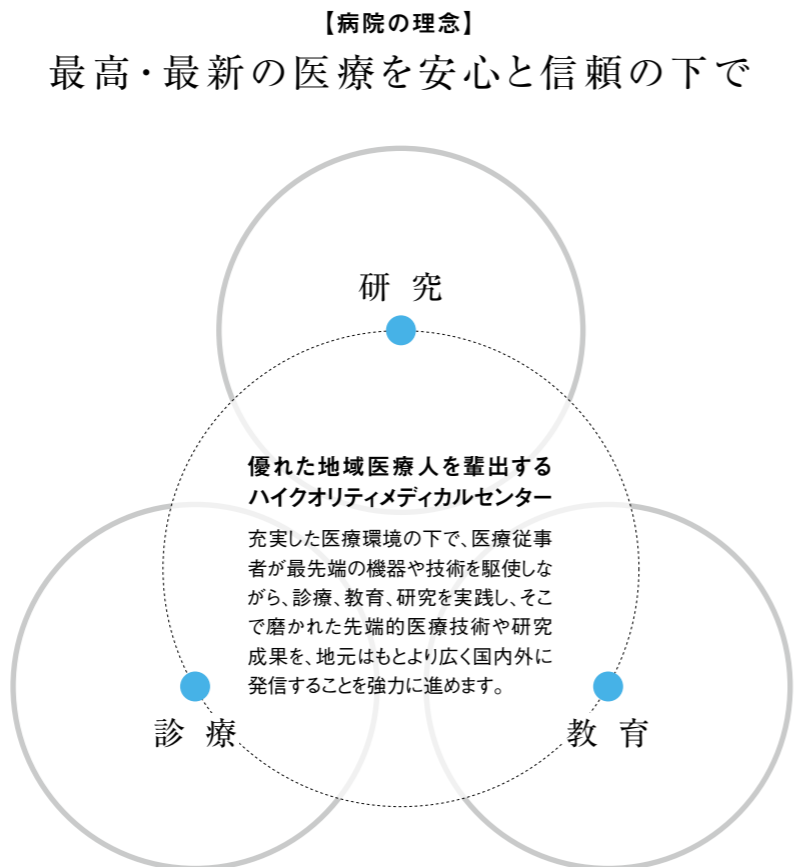
高度画像診断や低侵襲医療の開発・実践、がん・生活習慣病・生活機能病の先進的臨床研究を推進。厚生労働大臣が承認する先進医療の拡充を目指します。

堅固な経営基盤

医療従事者の職場環境を整え、経営基盤を確立し、患者さんによりよい医療を提供します。

実践重視型教育環境の充実

専門医や学生の研修・実習スペースや電子カルテを活用できる環境などを整備し、教育・研究の充実を図ります。



福井メディカルシミュレーションセンター

地域・在宅医療から先進医療まで 様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成

臨床教育研修センターに併設した「福井メディカルシミュレーションセンター」では、最新のシミュレーターを用い、地域・在宅医療から先進医療まで様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成しています。各種シミュレーターを活用して、大学病院としての高度先進医療を繰り返し学ぶことができ、かつ地域の病院として在宅医療を学ぶことも可能です。多職種が連携したトレーニングを行うことができます。



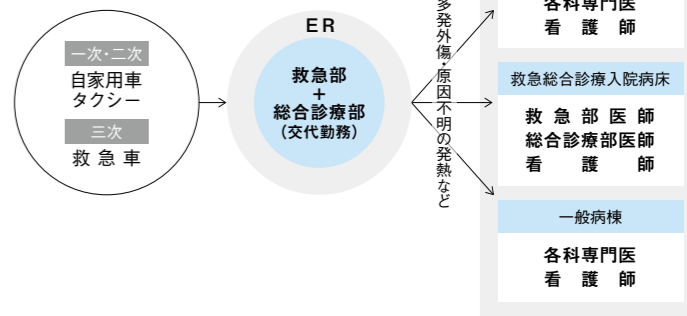
気道確保のトレーニング

地域医療を支える救急総合医、看護師の育成

地域医療のリーダーを育て 積極的な全国発信で人材育成に貢献

全国に先駆けて、救急部と総合診療部を一体化し、一次救急から三次救急まで全ての救急患者を受け入れる北米型(ER型)救急体制を平成12年に導入しました。救急部では初期臨床研修医や看護師が実践的な教育を受けることができ、研修医の場合、子どもから老人まで、精神疾患から外傷まで、軽症から重症まで多種多様な患者さんの診療に当たることで、総合的な診断力を養えます。また、消防、警察、行政などさまざまな職種の人たちとも連携するため、医療の知識や技術だけでなく社会性を培う訓練にもなり、人間としての成熟を促します。実践的な研修を積んだ医師や看護師が各医療機関で活躍すれば、地域の救急医療体制も自ずと充実します。

福井大学医学部附属病院 救急体制



パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS) による看護体制

安全で質の高い 看護と看護師教育のために



附属病院では、本院看護部職員が自ら開発した最新の看護方式「パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)」を平成21年度にスタートしました。副看護師長を中心としたグループを構成し、パートナーとなった看護師同士が対等な立場で相互に補完・協力し合い、質の高い看護を患者さんに提供しています。その成果と責任をチームで共有することにより、「気づく力と自発性」「迅速・適切」「看護品質の維持・管理」の追求を、「協働」「強い組織づくり」「やりがい」につなげ、「人によさしい看護」「パートナーを思いやる心」を育てています。



2人1組での看護体制

医療職を目指す高校生のための 外科手術体験セミナー

高校生が最先端の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みとして、平成19年度から毎年開催しています。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術や超音波凝固切開装置(超音波メス)による鶏肉の切開など7種類のプログラムを用意。高校生には外科医師の仕事体験する機会となり、指導した医療従事者には、初めに帰り、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



超音波メスの切開体験



トレーニングボックスでの鉗子(かんし)操作体験

工学部

School of Engineering

私たちの豊かな暮らしを創造する

豊かな暮らしを支える科学技術の基礎となる工学
安全・安心な社会の実現に向けて「モノ・コト・ヒト」の創造を進めます
また、世界と協働し、夢を実現する高度専門技術者を育成し
地域と世界の発展に貢献します

入学者受入の方針 Admission Policy

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系です。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

2. 求める学生像

- ①基礎学力があり、チャレンジ精神にあふれる人
- ②科学技術を通して国際社会で活躍したい人

教育課程の編成・実施の方針 Curriculum Policy

専門的知識・能力に加え、工学で求められる総合力と資質を有する高度専門技術者を育成するため、以下の方針に沿って教育を行います。

- ①工学の基礎となる数学や自然科学にかかわる知識を身に付けさせる。
- ②工学の各分野における専門的知識・能力を身に付けさせる。
- ③多様な学問分野にかかわる幅広い視野を獲得させる。
- ④創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を併せた総合力を身に付けさせる。
- ⑤技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解させる。

学位授与の方針 Diploma Policy

工学部では以下のような卒業生を社会に送り出します。

- ①基礎的な知識・教養、および専門的知識・能力を有している。
- ②創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を有している。
- ③高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

世界で夢をかたちにする技術者

GLOBAL IMAGINEER



「世界水準」に 挑む自負と自覚

原子レベルの複雑な挙動を解き明かす

シリコンカーバイドという物質があります。シリコンと炭素で構成される化合物半導体材料で、スイッチング電源やインバータなどのパワーデバイスへの利用が進んでいますが、佐藤さんが所属する研究室では、これで超高効率の太陽電池セルを作ること考えています。佐藤さんは、その中でもシミュレーションによって、シリコンカーバイドの結晶構造の中の原子の振る舞いを解明する研究に取り組んでいます。「シリコンカーバイドは、きれいな結晶を作るのが難しいんです。格子構造のどこか一部に欠陥があると、全体がとても不規則な振動を起こす。そこで、コンピュータの中に仮定の結晶構造を作って、そこから炭素原子やシリコン原子を1個抜いたらどうなるか、そこに力を加えたときにどんな揺れ方をするのか、という計算をするわけです」複雑な動きをするものに対して有効な計算方法を考え、プログラムを作る。それが佐藤さんの研究です。コンピュータを相手に格闘する地道な作業ですが、世界水準の課題に挑戦しているという自覚はあるといいます。

自分の考えは世界の中で今、どれくらいか

佐藤さんが「世界」を意識するようになったのは、学部2年生の春、アメリカのポートランド州立大学に留学したことがきっかけでした。「向こうでは、課題に対して自分がどう取り組んできたのか、どういう知見を得たのか、発表する機会がとても多いんです。というか、自分からどんどん発表していかないと、一歩も前に進めない。大学で勉強するって、こういうことなんだな、と目が覚めるような思いでした」研究室でも、教授から「それで、君はどう考える?」と問われるとのこと。教えられたことをそのまま貯め込んでいくのではなく、自分なりに考えて、その次の段階に進んでいくことが求められます。その時に、いつも頭の中にあるのは、自分の考えが世界でどのような位置を占めるのか、ということ。「これから先、あらゆる分野の仕事を機械が代替していくようになっていわれています。そんなときにも、未来をイメージして創造していくことは、人間にしかできない。そういう人間に、自分自身を鍛えていきたいと思っています」



佐藤 祐大 さん
大学院工学研究科
博士前期課程
電気電子工学専攻 1年
京都府立洛西高等学校出身



Interview
Movie!
Filesize: 60MB

5 学科 >>>>>>

分野横断型の学び
柔軟で幅広い視野を持った
グローバルイマジニア*へ

*心に夢を描き (Imagine) かたちにする技術者 (Engineer) を「GLOBAL IMAGINEER」という言葉で表現しています。

機械・システム工学科

安全・安心な社会の創造および革新的ものづくりに貢献できる技術者

- 機械工学コース
- ロボティクスコース
- 原子力安全工学コース

電気電子情報工学科

持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という未来社会の基盤を築く技術者

- 電子物性工学コース
- 電気通信システム工学コース
- 情報工学コース

建築・都市環境工学科

安全・安心な社会生活の実現に貢献する実践力のある技術者

- 建築学コース
- 都市環境工学コース

物質・生命化学科

安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する実践的の化学系技術者

- 繊維・機能性材料工学コース
- 物質化学コース
- バイオ・応用医工学コース

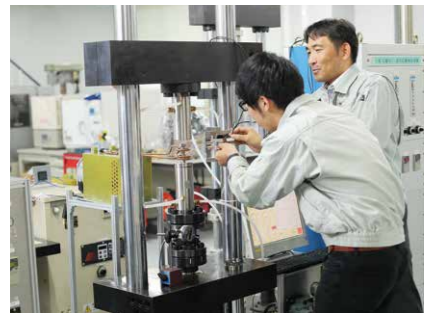
応用物理学科

物理の世界を探索し、次世代の技術発展へとつなげる技術者

- 自然科学の基礎を学び、工学への応用を考えます。
- 物理学を中心に広範な自然科学分野を扱います。

機械・システム工学科

未来の暮らしを創造する機械・システムの領域は、高度化、知能化、精密化が進み、多種多様な分野の融合で技術革新が続いています。機械工学を中心にエネルギー、材料物性、ロボット、計算機など幅広い分野を横断した専門知識を身につけ、安全・安心な社会を持続的に構築できる人材を育成します。また、3年次からは「原子力安全工学コース」にて原子力工学を学ぶこともできます。



機械工学コース

環境と調和した社会を実現するために、ものづくりのキーテクノロジーにハードとソフトの両面からアプローチします。

- 「材料」「設計加工」「熱・流体システム」「計測制御」を幅広い基礎から学習



ロボティクスコース

人工知能(AI)やヒューマノイド・ロボットを創り出す人材を育成します。

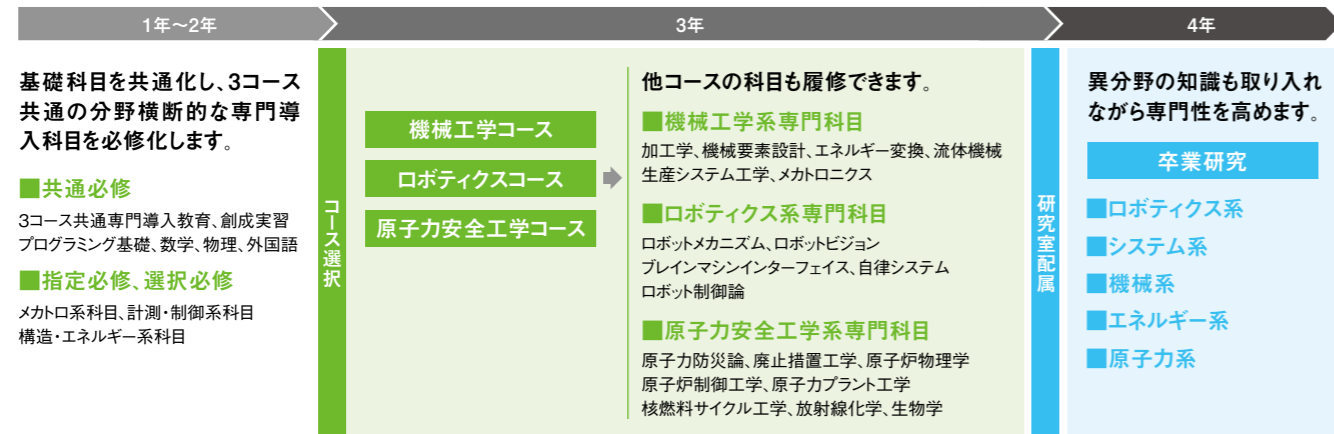
- 機械・電子・情報などの基礎から応用までを統合した未来志向の「ロボット学」
- コンピュータ演習や「ロボット工房」で技術を磨き、最先端のソフトやハードを研究



原子力安全工学コース

原子力技術にとどまらず幅広い工学分野に適用できる知識が身につきます。

- 原子力エネルギーと放射線の基礎を学習
- 県内の原子力施設を活用し、安全・安心に基づく基礎研究(3年次:敦賀キャンパス)



卒業後の進路

大学院進学 福井大学 大学院工学研究科(博士前期課程/博士後期課程)/その他工学系大学院

想定される就職先 電力会社/機械・電気メーカー/ソフトウェア企業/メカトロニクス企業/自動車産業/重工業企業
研究機関/官公庁/電気電子企業 など



PROFESSOR'S VOICE

伝統的な「切り紙」遊びと最先端素材の不思議な関係

ライ ショウペン
雷 霄雯 講師
専門分野: ナノ機能材料設計・計算材料力学

「切り紙」遊びをご存じですか。紙にいくつかの切り込みを入れてさまざまな形を作り出す、日本の伝統的工芸です。英語でも、そのままKirigamiといいます。私の研究室では、これにヒントを得て、最先端の素材、とりわけ今注目を集めている炭素素材のグラフェンシートに挑戦しています。グラフェンシートは、炭素原子の結合からなる蜂の巣のような六角形の格子構造をもつナノ炭素材料のひとつで、現在知られている素材の中で最も薄くて強い物質です。電気や熱の伝導率も非常に大きく、ナノ

炭素材料を基にした材料は自動車や航空機などへの応用が期待されるなど、世界中の研究者がその可能性を模索しています。私は切り紙や折り紙の発想を、2次元のグラフェンシートから3次元構造への創成技術に応用すれば、強度と柔軟性・新機能を兼ね備えた構造を実現できると考え、力学理論解析とさまざまなコンピュータシミュレーションを行っています。日本の伝統工芸が先端技術に結びついて、まだ誰も見たことのない世界を実現する。とてもワクワクするプロジェクトです。



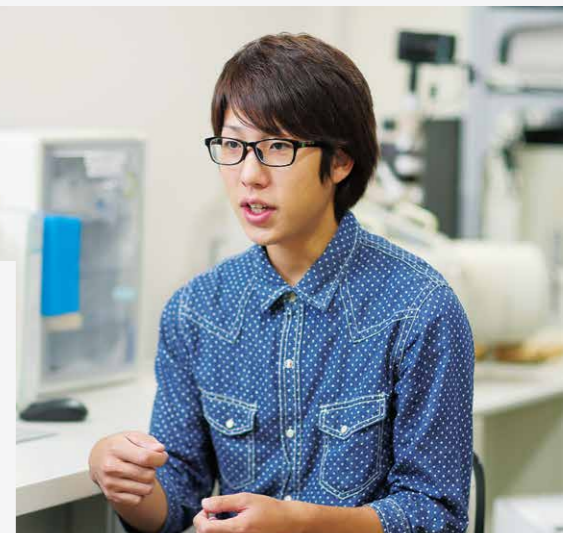
STUDENT'S VOICE

世の中の「摩擦」を解消するトライボロジーの研究

坪田 雅大 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 機械工学専攻 1年
福井県立羽水高等学校出身

「ただし、ここでは摩擦はないものとする」というようなフレーズ、物理の問題ではよく出てきますよね。でも、実際には物体と物体が接触していれば、必ず摩擦は発生しますし、その結果、物体の摩擦も起きます。この摩擦・摩耗を研究する分野をトライボロジーといいます。私は自動車が大好きで、エンジンのピストンや軸受けの摩擦・摩耗を最小限にすることで、エンジンの燃焼効率を高めたいと考えてきました。研究では、面圧や速度、接触形態などのパラメータを自由に

設定できる摩擦・摩耗試験機(これをラボ・モデルといいます)を製作し、摩耗面を観察します。工学部に入学して以来、機械設計・製作の勉強を積んできたので、現在は、そのラボ・モデルを設計し、自作している段階です。装置はもうすぐ完成し、いよいよ実験を開始。前期課程修了までには、一定の結果を出したいと思っています。修了後は、自動車関連の企業で研究成果を生かした高効率エンジンの開発に携わることができれば、と考えています。



電気電子情報工学科

電気工学に始まり、歴史とともに分化・発展してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学。本学科は、現代社会を支えるこれらの分野をカバーし、サイバー空間でモノ・コト・ヒトがネットワーク化される「第4次産業革命」をけん引する先駆的な研究者・技術者を養成します。安全・安心な社会を創造するための「電気・通信設備、情報セキュリティ技術」、持続可能な低炭素社会を実現するための「デバイス技術や制御・伝送システム」などを体系的に学ぶことで、分野横断的な技術力と高い専門性を身につけることができます。



電子物性工学コース

電磁気学や物理学を基盤とした研究を行います。

- 量子エレクトロニクス、固体電子論、半導体工学
- 先進的な電子材料・デバイス、量子エレクトロニクス、光エレクトロニクス分野



電気通信システム工学コース

電気回路や数理物理学を基盤とした研究を行います。

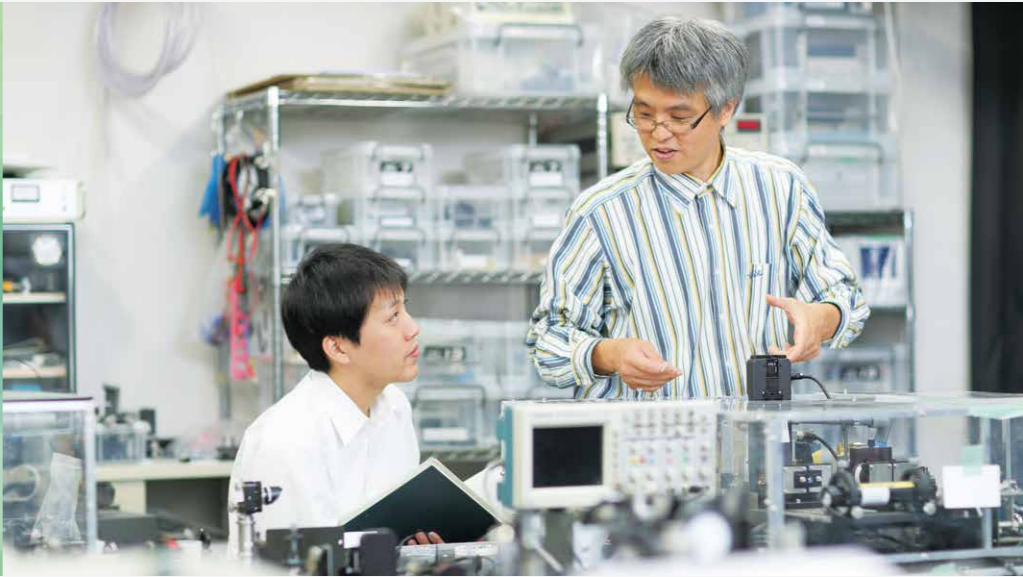
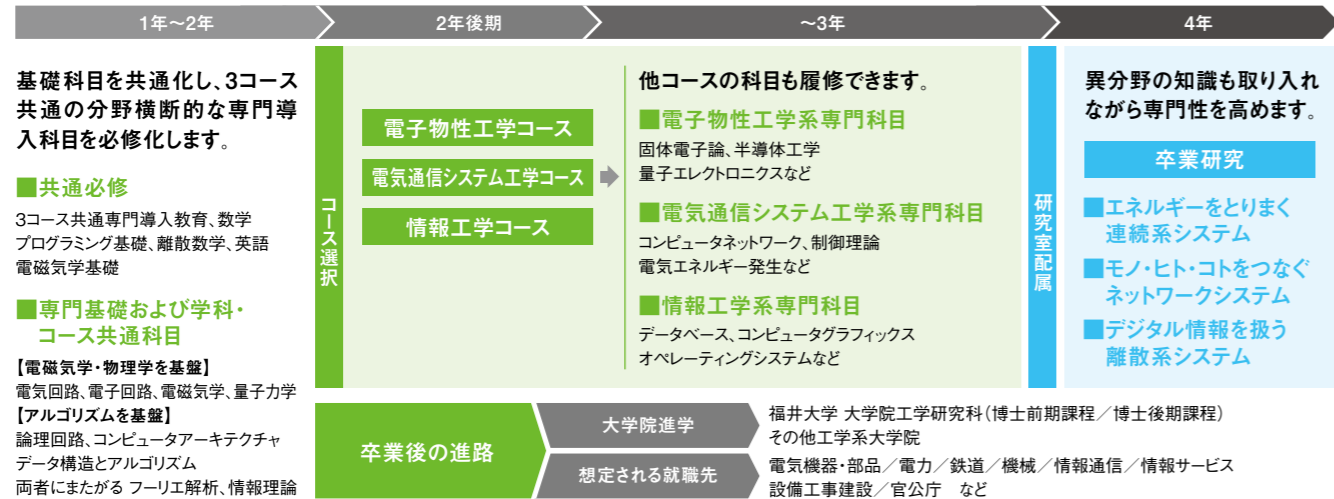
- 情報通信工学、システム制御工学
- エネルギー変換に関する新材料・デバイス開発
- 自然エネルギー利用による電力系統の高効率なネットワーク構築



情報工学コース

アルゴリズムを基盤とした「情報工学」と「メディア工学」を横断して学び、研究を行います。

- 情報・通信に関するハードウェアならびに基本ソフトウェア
- コンピュータグラフィックスやデータベースなどの応用ソフトウェア
- 映像・音声などのマルチメディア情報処理



PROFESSOR'S VOICE

見えないものを見るために 電波と光の中間領域を使いこなす

山本 晃司 准教授
専門分野:テラヘルツ分光

われわれが「物を見る」というとき、厳密には物そのものを見ているのではなく、物に当たった光の反射を見ています。光は波の性質を持っていますが、その周波数は、電波の領域と連続的です。その電波と光波の中間領域、周波数300 GHzから3 THzの範囲の電磁波をテラヘルツ帯といって、サブミリ波から遠赤外線までを含みます。普通の光の反射では見えない物体の内部や生体内のタンパク質の振る舞いなどを「見る」ために、このテラヘルツ波を使いこなそう、というのが、私たちの研究テーマです。通常、光を集めるにはレンズを使いますが、レンズには屈折率

の限界があって300 μ m以下には絞り込めません。テラヘルツ波で微量の試料を測定しようとするときには、電磁波をもっと小さいサイズにまで絞り込む必要があるのです。そのために有効だと思われるのが、V字型の溝を切った金属導波路です。テラヘルツ波がV字型の溝に沿って通っていき、超集束と呼ばれる現象が起き、密度の高い電磁波が得られるのです。この方法が確立され、安定した検出精度が出せるようになれば、医療や非破壊検査など多くの分野で実用化が進むと期待されており、大変やりがいのある研究だと考えています。



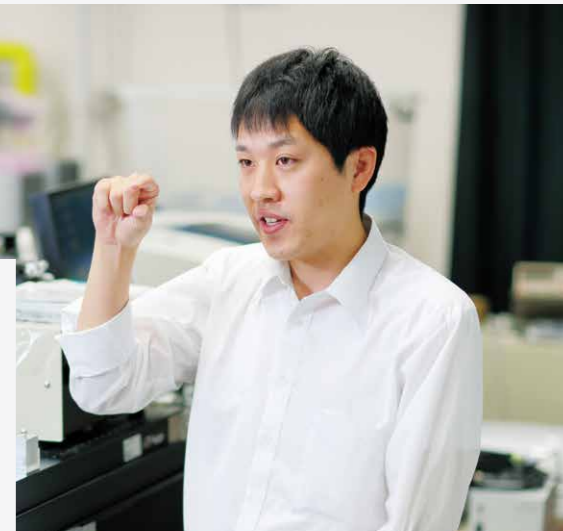
STUDENT'S VOICE

「想定外」はエンジニアの恥 考え尽くして結果を出す

田畑 寛明 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 電気・電子工学専攻 2年
山形県立酒田東高等学校出身

電磁波を利用した物質の測定のために、V字型の金属導波路について研究しています。電磁波は、V字の先端部に向かうにつれて生クリームの絞り器のように絞り込まれていき、それだけパワー密度は増大していきます。そのV字の角度はどれくらいが最適なのか、どれくらいの損失があるのか、さまざまに条件を変えながら、シミュレーションと実験を繰り返し、データをとって、最適な照射のコンディションを見つけ出すのが課題です。研究室は、先生や先輩たちが試行錯誤しながら手作りしてきた装置で埋め尽く

られています。私も、実験装置の進化にささやかながら貢献しています。これまで活用されていなかった帯域の電磁波を扱うので、実験では予想もしていなかった結果が出ることもあるのですが、この研究室では「想定外でした」は禁句です。想定外のことも想定に入れる、それが研究することであり、「考える」ということだ、と教わりました。修了後は企業のエンジニアとして働くことになりましたが、自分の力で考え尽くす姿勢は、大切にしていきたいと思っています。



建築・都市環境工学科

東日本大震災からの復興、続発する豪雨などの自然災害、社会インフラの老朽化、人口構造の変化など社会が直面している課題を踏まえ、地球環境や社会の変化による新たなニーズに柔軟、適切に対応した教育・研究を進めます。「安全・安心なインフラとまちづくり」、「快適に住み続けられる地域社会の創生」を基本に建築と土木の専門性に根ざして、社会基盤の維持管理と保全、国土の強靱化、建築デザインやまちづくりなど新しい価値の創造、少子高齢社会への対応、環境調和型の住空間の構築を学びます。



建築学コース

生活空間を構築するための関連分野の専門知識を習得し、建築計画・設計・施工・維持・管理技術を学びます。

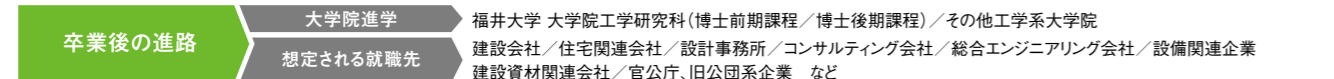
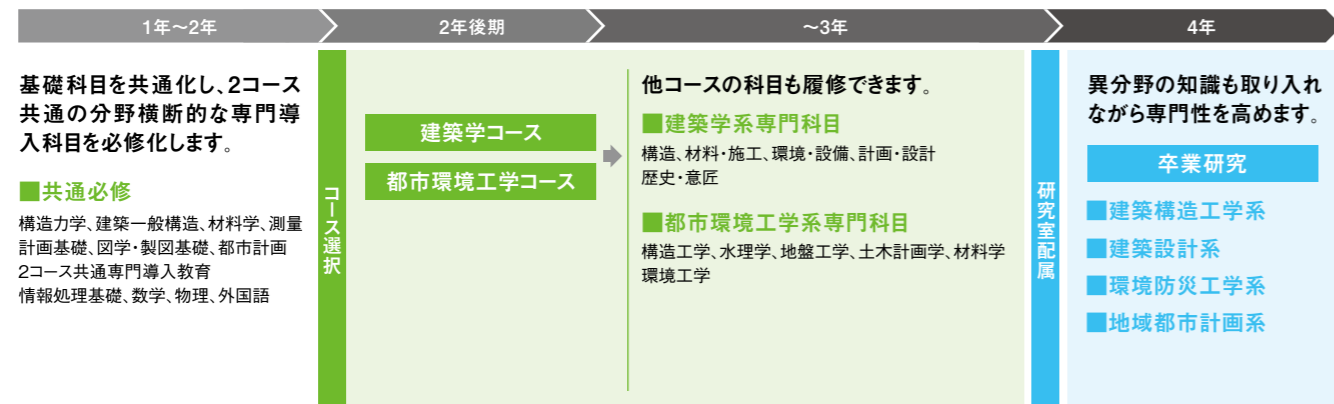
- 建築学と構造
- 材料・施工
- 環境・設備
- 計画・設計
- 歴史・意匠



都市環境工学コース

社会のインフラに直結する関連分野の専門知識を習得し、計画・設計・施工・維持管理を学びます。

- 土木工学と構造工学
- 水理学
- 地盤工学
- 土木計画学
- 材料学
- 環境工学



PROFESSOR'S VOICE

社会の土台を守る 非破壊検査の研究

鈴木 啓悟 講師
専門分野: 橋梁工学、非破壊検査、構造物健全度モニタリング

土木工学のことを「CIVIL ENGINEERING(シビルエンジニアリング:英語)」といいます。市民生活を支える工学、という含意があります。道路や橋、ダム、トンネルなどの建造物は、まさに社会の土台を支えるものです。その安全性を担保するのが非破壊検査の技術です。私の研究室は、その中でも超音波探傷試験について研究を深めています。人間が作ったものは、いつかは老朽化していきます。とりわけ日本では、社会インフラの多くが高度経済成長期に建造されており、建設後50年を超えるインフラが飛躍的に

増大しています。超音波探傷技術は、コンクリートの表面から超音波パルスを伝播させ、その反射波の発生源を特定することで、内部に生じた空洞や割れなどを検出します。当研究室では、空洞から得られる反射波を抽出するための特殊な信号処理方法を開発し、さらに高精度な探傷技術を追究しています。もちろん、その前提として建造物の構造や損傷の発生メカニズムを熟知していることが必要で、理論的なアプローチと実験を積み重ねながら、研究を進めています。



STUDENT'S VOICE

安全のために、人を動かす プレゼンテーションの技術

畑 千晴 さん
建築建設工学科(現:建築・都市環境工学科)4年次
静岡県立藤枝東高等学校出身

超音波探傷検査は、コンクリートの内部の様子を超音波パルスの反射波形で表すものです。波形の不連続などところに「なにか」があるわけです。その「なにか」は、必ずしも傷や欠陥とは限りません。コンクリートにもともと含まれている骨材や正常な打ち継ぎ面も、波形の不連続として現れます。その散乱要素を見分けるためにフィルターにかけて、受信波形を識別する仕組みが必要です。研究室の先輩がそのプログラムを作られたのですが、私は、それを自分なりに

アレンジして検査対象にすることに取り組んでいます。卒業後は大学院に進学して、その研究をさらに深めていくとともに、得られたデータを、より多くの人が見て分かる画像に加工することにも挑戦しようと思っています。専門家なら生のデータを見ただけで判断できるかもしれませんが、社会インフラの整備は多くの人の理解を得ながら進めていくものです。そのためには、画像化によるプレゼンテーションが大きな力になるのでは、と考えています。



物質・生命化学科

物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する物質化学、生命科学の基盤である生物化学、物理法則を基礎として材料を取り扱う材料工学に関する専門知識を学びます。
 繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知識、高い倫理観を持ち、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる研究者および専門技術者を養成します。



繊維・機能性材料工学コース

基礎研究と産業の両面に応用できる最先端の繊維・材料研究を行います。

- 有機化学、無機化学、高分子工学、生物学
- 航空機の部材に使用される炭素繊維
- 様々な高分子材料に高い性能と機能をもたせる分子材料の設計



物質化学コース

ナノテクノロジーなどの新しい技術開発を行います。

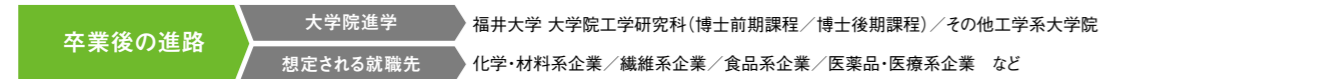
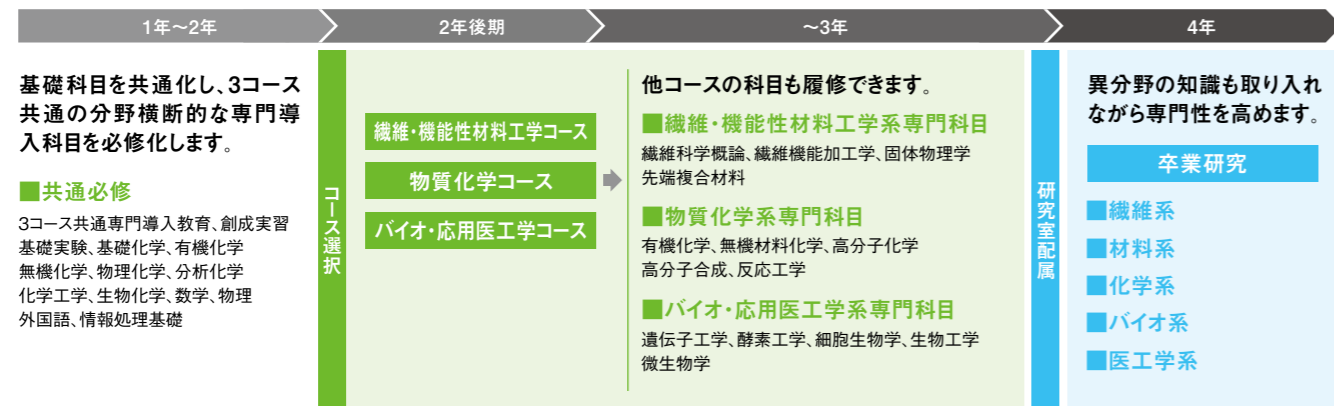
- 有機化学、無機化学、分析化学、高分子化学
- 物質の構造や性質、その反応に関わる法則を探究



バイオ・応用工芸学コース

化学と生命科学の領域を横断しながら、医学と工学の連携に貢献する研究を行います。

- 遺伝子工学、酵素工学、細胞生物学、生物学、微生物学
- 遺伝子レベルでの生命現象の解析から有用物質の工業生産まで、バイオテクノロジーに関する知識と技術を習得



PROFESSOR'S VOICE

材料としての繊維の新しい可能性を開く試み

廣垣 和正 准教授
 専門分野: 繊維材料、染色化学、コロイド化学

福井は伝統的に繊維産業が盛んな土地です。古い産業としての側面が強調されるくらいがありますが、実は繊維には先端材料としての大きな可能性があります。私の研究グループでは、その可能性を広げるためにさまざまな角度からアプローチしています。一つは水を使わない繊維の染色・加工です。世界では、1年間に染色・加工に地中海一杯分の水が使われています。二酸化炭素を高温、高压にして、気体でも液体でもない超臨界流体と呼ばれる状態にします。これを水の代わりに使うと、排水が出ないので、水資源を保護でき、染色・加工工程の合理化と環境負荷の低減の両面に貢献します。もう一つ、

色に関しては従来の「染める」という概念から離れて、「構造色」の研究を進めています。孔雀の羽根のように物質表面の構造と光の相互作用で発色するもので、構造が保たれる限り変色することがなく、色素では出せない美しい光沢のある表現が可能になります。繊維の表面に微細構造をつくり、その構造を制御することで、光を選択して反射したり、曲げたりすることが可能になります。さらに、電気に変えて光を信号伝達に用いたり、エネルギー源として光をためたり、運んだりするための材料が実現できるかもしれません。繊維の可能性を広げ、新しい未来を創造していきたいと思っています。



STUDENT'S VOICE

おしゃれな宇宙服? アラミドエアロゲルの挑戦

鈴木 優美子 さん
 大学院工学研究科 博士前期課程 繊維先端工学専攻 2年
 奈良県立平城高等学校出身

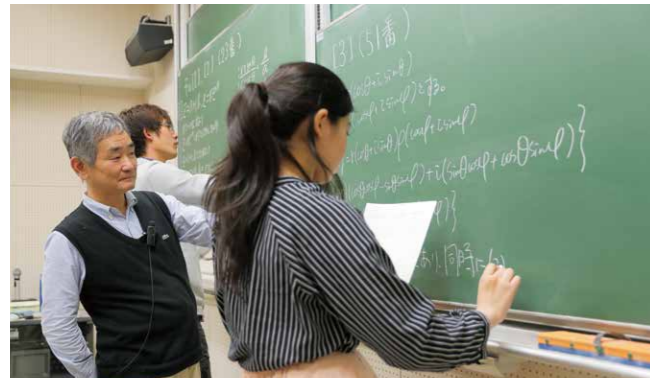
エアロゲルは、ナノ単位の小きな穴が無数に開いた物質です。非常に低密度な固体で、「凍った煙」や「固体の煙」とも呼ばれ、断熱材や防音材、また表面積が非常に大きいことから触媒を固定する土台としての利用が期待されています。エアロゲルを作る素材は、無機物ではシリカ、有機物ではセルロースがメジャーですが、シリカは強度と柔軟性に難があり、セルロースは耐熱性が低く、燃えやすいという欠点があります。これらの欠点を克服するために、私は作業服や防弾チョッキなどに使われる高強度繊維

のアラミドに着目して、これをエアロゲル化する工程を検証し、その構造と性能を制御する手法を研究しています。アラミドエアロゲルは、アラミドを溶かした溶媒を気体に置換することで作れるわけですが、その際の条件の設定によって、構造と性能を作り分けることができると考えています。エアロゲルはきわめて低密度なので軽くて動きやすく、そこにさまざまな性能を作り込むことで、超機能的な宇宙服や防護服など、近い将来、世の中を大きく変える製品開発に結びつかもれない。そんな夢の広がる研究です。



応用物理学科

近年の技術革新により、基本原理に立ち返って科学を理解し、応用できる能力がますます重要になっています。物理学とともに、数学や化学、計算科学を中心とした理工学を総合的に学習し、その基礎を固めた上で、実践科目や卒業研究において、理工学への応用・先端領域や物理学の最新理論を学びます。こうして物理学を身につけた技術者の強みである、「物事を根本から考える力、数理的思考力、物理的思考方法に基づく判断力」が養われます。このような教育を通して、新しいものづくりに挑戦できる人材、安全・安心社会の構築に必要とされる人材、ものづくりのわかる理科教員を養成します。



自然科学の基礎を学び、工学への応用を考える

この学科ではコースを設置せず、物理学、数学、化学といった自然科学の基礎を幅広く学び、論理的な思考力を身につけ、理論に基づいた実験も行います。

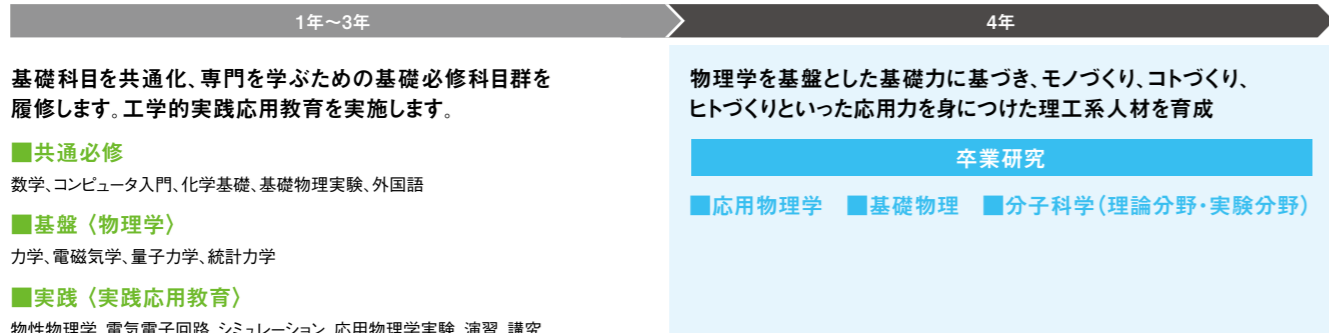
- 1年次から3年次にかけて、力学、電磁気学など物理学の基礎を学習
- シミュレーションや応用物理学実験などの演習を重ね、工学への応用を探究



物理学を中心に、広範な自然科学分野を扱う

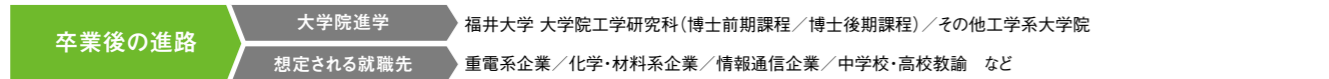
素粒子の構造解明や宇宙線の探索に関する基礎科学の成果なども新たな工業技術に結びつけ、イノベーションを目指します。

- 4年次には「数理・量子科学(理論物理・数学)」「物性・電磁物理(実験物理)」「分子科学(化学)」の3講座と「遠赤外線領域」「附属国際原子力工学研究所」のいずれかで卒業研究を行います



基礎科目を共通化、専門を学ぶための基礎必修科目群を履修します。工学的実践応用教育を実施します。

- 共通必修
数学、コンピュータ入門、化学基礎、基礎物理実験、外国語
- 基礎〈物理学〉
力学、電磁気学、量子力学、統計力学
- 実践〈実践応用教育〉
物性物理学、電気電子回路、シミュレーション、応用物理学実験、演習、講究



PROFESSOR'S VOICE

物事の本質をつかみ出そうとする 知的な挑戦、それが物理学

田嶋 直樹 教授
専門分野: 原子核構造論

物理学は理論的・原理的な学問分野です。私自身の研究分野は原子核理論で、原子核を構成する陽子と中性子の振る舞いを記述する方程式を立てて計算します。同種の粒子がたくさんある系の量子力学で、有限量子多体系と呼ばれています。原子力や放射線の利用に対して、理論的な基礎を提供する研究です。原子核理論、量子力学の基礎方程式は、すっきりとした解が求めにくいのが常ですが、近似値の中から現象の本質をつかみ出す努力が必要だと思っています。一方、学生は各人が興味を持って

主体的に取り組めるテーマを選んで研究を進めています。たとえば、宇宙に興味のある人は中性子星の研究を、原子力の問題を追究したい人は原子炉の放射能の時間変化や原子核の放射性崩壊の計算を、変わったところでは、当研究室でトレーニングしているデータサイエンスの手法を用いて、為替レートなどの経済現象を考察している人もいます。それぞれテーマは違っても、物事の本質を追究する姿勢こそが物理学。私は学生諸君のことを、ともに語り合う仲間だと思っています。



STUDENT'S VOICE

中性子が散乱するときの カオスのような運動に秩序を探す

湯口 穂乃 さん
物理工学科(現:応用物理学科) 4年
静岡県立島田高等学校出身

原子核に1個の中性子がとらえられた状態はランダムな系で、そこには規則性はない、と一般には考えられています。でも、もしそこに秩序構造が見つかったら…。原子核理論をシンプルな方程式で表すことができ、理論物理学の研究に新しい局面を開くこととなります。日本原子力研究開発機構が提供している中性子の散乱に関する膨大な実験データを統計処理することで、カオスの中に秩序を探し出そうとするのが、私の研究テーマです。世界中の研究者の常識に挑戦するような大きなテーマですが、複雑な現

象を美しい数式で表すのが物理学の醍醐味。現在は、Python(パイソン)という科学技術に特化した言語を用いて、統計処理のプログラムを作っているところです。もちろん、簡単に規則性が見つかるとは思っていませんし、研究の結果、やはり規則性はなかった、という結論になったとしても、私にとっては、科学的なものの考え方、コンピュータサイエンスと数学的な手法を身につけるという点で、これは将来の私を支えてくれる意味のあるチャレンジだと感じています。



附属国際原子力工学研究所

Research Institute of Nuclear Engineering

敦賀キャンパス



原子力安全工学コースの紹介動画はこちらをご覧ください。

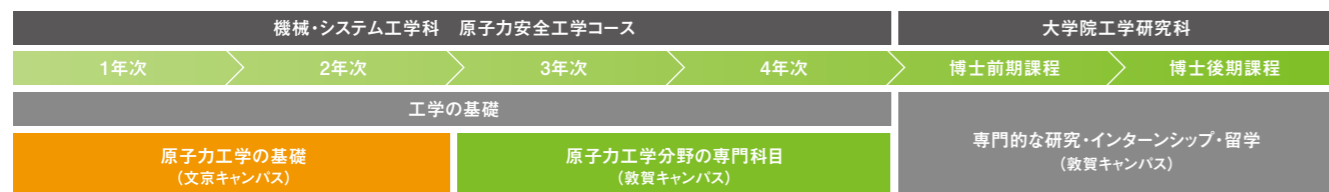
世界トップレベルの原子力研究開発と人材育成

原子力施設が多く立地する福井の地域性や国際社会のニーズに対応するために、2016年度より「原子力安全工学コース」が工学部機械・システム工学科に設置されました。原子力工学は総合先端工学の分野です。本コースの学生は、1・2年次に数学や物理学などの基礎科目とロボティクス・機械工学を総合的に学んだ後、3年次から敦賀キャンパスで専門教育と研究活動を開始します。県内の原子力施設を活用した質の高い専門教育を受けることができます。



特徴

- ・総合先端工学分野である原子力工学・放射線科学などを1年次から学べます。
- ・県内の原子力施設を活用した質の高い国際的人材育成。
- ・国内・海外の研究機関との活発な学術交流。
- ・原子力・放射線分野ばかりでなく、広く一般工学分野への就職が可能です。



必修科目

原子炉物理学序論／核燃料サイクル工学入門／原子炉プラント工学／原子炉工学／原子力安全工学実験I／原子力安全工学実験II

選択科目

放射化学／放射線の医療応用／放射線化学・生物学／原子力材料学／核燃料工学／リスク評価概論／原子力・耐震耐津波工学／原子炉制御工学／廃止措置工学／放射線防護工学／原子力防災論



敦賀キャンパスでの学び



研究環境

1年を通じ外国人の研修生や研究者を受け入れており、英語を話すことが日常です。



異分野横断セミナー

各分野で活躍中の国内外の研究者や先輩、民間企業の方が最先端の講演をします。



福島でのフィールドワーク

医学部と連携し福島県川内村で住民への聴き取り、施設見学、放射線測定などを行います。



留学・インターンシップ

国内外の関連施設・研究所や国際機関で経験を積むためのプログラムがあります。



テレビ会議による研究機関交流

テレビ会議で、国内外の研究機関と研究の進捗、国際学会での発表の打合せなどをします。



各種研修プログラム

国際機関との連携によるアジア人材育成研修、廃止措置関連の研修などに参加します。



地域との連携

様々な地域の方々や原子力防災について一緒に考える機会が豊富にあります。

原子炉物理学部門

原子炉プラントの核特性研究を実施します。原子炉内での核分裂分布を理解するために、中性子に対する核データ、輸送方程式の解法、炉物理実験、さらに計算法の検証、不確かさ評価等の研究を行います。安全性に係る炉物理研究により、安全性をより向上させた原子炉プラントの構築に寄与します。

原子炉燃材料部門

核燃料サイクルで用いられる燃料および材料の材料科学的研究や放射性廃棄物の処分処理に関する研究を実施します。様々な原子力システムの燃料、材料および放射性廃棄物の諸特性、それらの機構論的な議論を通して、通常時や事故時の挙動の予測手法の開発を目指します。そのような研究を通じて、より安全で経済的な核燃料サイクルの構築に寄与します。

原子力防災・危機管理部門

原子力の防災・危機管理を進展させ、新たな防災・危機管理技術を開発するため、事故の防止・緩和対策や、災害に強い原子力システムの開発、事故対応策の立案、防災対策の最適化、適切かつ迅速な放射線防護対策、被曝管理の適正化に関する研究を行います。

シビアアクシデント評価

放射線計測・防護

危機管理

基準・規則国際化

熱水力部門

原子炉の安全性に関連する熱水力現象を明らかにするとともに、安全解析手法や二相流シミュレーション手法の高精度化を進めることにより、信頼性の高いプラントシステムや最適なアクシデント・マネジメントの確立を目指し、安全評価と事故の防止・緩和対策に関する研究を進めます。

原子炉構造システム・廃止措置部門

原子炉プラントの安全性向上・環境負荷低減を進展させるため、「ふげん」等の廃止措置に関する研究やそこで得られる知見等の体系化、地震や津波による構造システムへの影響解析等、システム設計に生かす研究を行います。

廃止措置

耐震・耐津波

廃棄物処理・処分

システム設計

国際交流・人材育成推進部門

国際的な共同研究を推進するとともに、原子力新興国に対する人材育成・交流を通じて、世界的な原子力の安全性向上に寄与します。

STUDENT'S VOICE

作る、使う、だけではなく
安全に解体することも技術の責任

杉本 涼太 さん

建築建設工学科
(現:建築・都市環境工学科) 4年次
福井県立金津高等学校出身



原子炉の廃止措置について敦賀キャンパスで研究しています。所属は建築建設工学科なのですが、今の日本の最大の技術課題ともいえる原子力発電所の廃炉について、これは僕がやらなければ、となぜか使命感のようなものを感じました。原子炉プラントを安全に解体するにはどのような工程で、どれくらいのコストが掛かるのか、さまざまな不確実性の要素も含んだ計算モデルを開発中です。海外では、これから原子力発電所を作るところもありますが、その場合でもあらかじめ廃炉を想定した設計が求められます。そういった分野にも貢献できる研究をしていきたいと考えています。

環境放射線をビッグデータとして解析
原子力防災に貢献する

吉田 佳乃子 さん

大学院工学研究科
博士前期課程
原子力・エネルギー 安全工学専攻 1年
福井県立羽水高等学校出身



福島の事故の時、急激に放射性物質が放出されました。その時、混乱の一因となったのが、定常状態の自然放射線(バックグラウンド線量)と、どれくらいの差があるか分からなかったことです。放射線を継続的に計測するモニタリングポストは、全国4,000カ所に設置されており、そのデータ量は膨大です。私の研究は、ビッグデータ解析の手法を用いて、バックグラウンド線量を統計処理し、公開できるようにすること。放射能は分からない、分からないから怖い、ではなく、きちんと分かって怖がること。正確で素早い情報提供で、原子力防災に貢献したいと思っています。

国際地域学部

School of Global and Community Studies

グローバル視点で、地域の創生を

徹底した英語教育と海外留学を通じた異文化理解を深め

国際感覚に長けた人材の育成を目指します

地域と世界、密接に関連する2つの分野を多角的に捉えることができる

幅広い視野を養い、地域の問題に取り組みます

入学者受入の方針

Admission Policy

【教育目標】

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探究し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成。

【求める学生像】

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心をもち、それについての探究を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある者。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲を持つとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある者。
- ③世界共通語の性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする者。

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

- ①現代の地域社会や国際社会の抱えている諸課題を理解、分析するために政治学・経済学・経営学・社会学、歴史学、宗教、哲学、文化研究をはじめとする人文社会科学分野に関わる幅広い学識と自然科学分野の基礎的知識を身につける。
- ②地域や社会の抱える現実の課題について、専門的な学習と併せ、地域や企業等との参加・協働を通して、探究と解決に取り組むことのできる能力を身につける。また、そのために必要な、分析ツールとしての統計、データ処理、調査法等で求められる能力を身につける。
- ③グローバル化が進行する社会・地域の中で、広く世界を知り、多文化の中で主体的に生きていくために必要な多文化共生を支える異文化理解力とコミュニケーション能力を身につける。

学位授与の方針

Diploma Policy

- ①幅広い教養と専門的な知識・能力を有している。
- ②地域や国際社会の抱える課題と発展可能性を探り、リサーチすることができ、その問題の解決と可能性の実現を通して、グローバル社会の発展と地域創生に貢献することができる。
- ③グローバル化する社会において求められる国際的な視野や批判的思考力を身につけ、英語を中心とする外国語能力も含めた多文化共生を支える異文化理解とコミュニケーション能力をもち、行政・企業・地域等で対応し、活躍することができる。

PICKUP CURRICULUM

課題探求プロジェクト

日本の価値を再発見し世界に発信する



福井県福井市の株式会社 米五でのヒアリング。
本店に隣接する味噌工場に置かれた、伝統の木桶の前で経営者の思いを確認します。

老舗の経営者に見る、ベンチャー精神

天保2年(1831)創業の味噌蔵「米五」。天正元年(1573)創業の醤油醸造業「室次」。福井市内に本店を構える、押しも押されぬ老舗です。この両社を、国際地域学部の福井理文さんたちが訪ねました。何代にもわたって大豆の発酵を繰り返してきた蔵だけが持つ甘い香りが漂うなか、学生たちは矢継ぎ早に質問を繰り返します。「商品の特徴は?」「販売戦略は?」「何百年にもわたって続いてきた秘訣は?」。伝統産業の存在価値を若者たちに伝える意義を感じているのでしょう、経営者の方も丁寧に答え、ときには熱弁をふるいます。

「課題探求プロジェクト」は、学生たちが自ら問題を立て、その解決に向けて取り組む過程で経験や知識を獲得していくPBL(Project-Based Learning)型の授業です。福井さんたちのテーマは「伝統食品産業の販売戦略」。事前に、訪れる企業の資料を調べ、どういった販売戦略の提案が可能か仮説を立て、インタビュー項目を精査して、ヒアリングに臨みます。

「結果からいえば、僕はまだまだ甘かった。会社の起源は古くても、当代の経営者はベンチャー精神にあふれて、フリーズドライの味噌や、フレンチ、イタリアンにも合う粉末の醤油など、どんどんイノベーションを起こしています。会社の生き残りをかけて真剣にお考えなので、当然といえば当然ですが、販売戦略も、海外の日本食ブームや健康志向などに焦点を当てて取り組んでいる。学生の机上の空論が通用する余地はほとんどありませんでした。でも、だからこそこれから何をどうやって勉強していけばいいか、はっきりしました」。老舗のスピリットが、学ぶ意欲にさらに火をつけてくれたようです。

プロジェクトが、夢に輪郭を与える

まだ価値が知られていない日本の文化や技術を世界に発信していきたい。福井さんが国際地域学部に入学したのは、そんな動機からでした。プロジェクトを経験したことで、その夢に少し明確な輪郭ができてきたようです。2年次からはグローバルアプローチに進み、長期の海外留学に挑みたいと語ります。語学の授業に、熱心に取り組むのはもちろん、時間を見つけては語学センターの国際交流スペース「グローバルハブ」に入り浸って、そこに集まる留学生たちと会話しながら、異文化コミュニケーションの実践に励む毎日です。

福井 理文 さん

国際地域学科 1年次
聖心学園中等教育学校出身



Interview
Movie!
Filesize: 60MB



市の食育フェスティバルにスタッフとして参加。
市民の食育への関心を高め実践につなげます。



まちなかの賑わいづくりに取り組む坂井市三国町の「三國會所」を
訪問しヒアリング。



課題探求プロジェクトの報告会で、気づきや問題意識を広げます。

学びの特色

I. グローバルに考える力を身につける



徹底した英語教育

グローバル社会で活躍できる人材を育成するために、海外留学を含めた多様な経験の機会を提供します。留学先で通常の科目を英語で学べる能力獲得を目指し、1年次の学生は全員、集中的に英語を学習します。特に最初の半年、ICTを活用した言語開発センターでの学習を含め徹底的に英語を学び、まずは留学資格TOEFL(iTP)530以上、目標550以上を目指します。



海外留学

海外留学を通して世界を知り、異文化の中で実際に生活することで、異なったものの見方、価値観、社会の在り方等について理解を深めます。海外留学は、学生に“global thinker”(グローバルに考える人)となる契機を与え、同時に、世界に対する幅広い理解と、自己に対する理解を深めます。

PROFESSOR'S VOICE



人生を変える経験を海外で英語はその手段です

イヴァン・ロンバルディ 助教

専門分野: 言語教育

日本では普段の生活で英語に触れる機会があまり多くありません。そんな環境の中で英語の学習意欲を維持することは難しいです。本学の語学学習は少数プログラムを取り入れており、アクティブラーニングやワークショップを通して主体的に学ぶことができます。また、教員が一人ひとりしっかりとサポートできるため、学生の語学力はぐんぐん伸びています。ここで身につけた英語を活かし、海外で人生を変えるような経験をしてほしいと思います。

II. 地域の課題と向き合う4年間



「課題探求プロジェクト」は、企業や自治体等に出向いて様々な課題を知り、調査し、課題解決の一端を担う実践的な科目群です。実践的な学びと、課題を理解し分析する幅広い専門分野の学習を有機的に結び付ける形でカリキュラムを構成しています。プロジェクトは、越前漆器や和紙等の「伝統工芸産業の課題」「福井の企業の海外事業展開」などのテーマから決定し、学年進行に伴い到達目標を高度化させ、最終的には専門的な学問分野に即して調査・研究し、卒業研究につなげます。こうした「課題探求プロジェクト」を中核に据えたカリキュラムを通じて、それぞれのテーマに内在する問題の探究とその解決、意思決定や批判的な思考を育むとともに、リアルな現場としての社会を理解し、自分の進路への意識とそれに適応する能力を身につけます。



課題探求プロジェクトと専門教育科目の結びつき

実践的なプロジェクト学習を継続的に深めながら、それと関わる専門教育科目の知識と方法を、らせん的なサイクルで習得します。



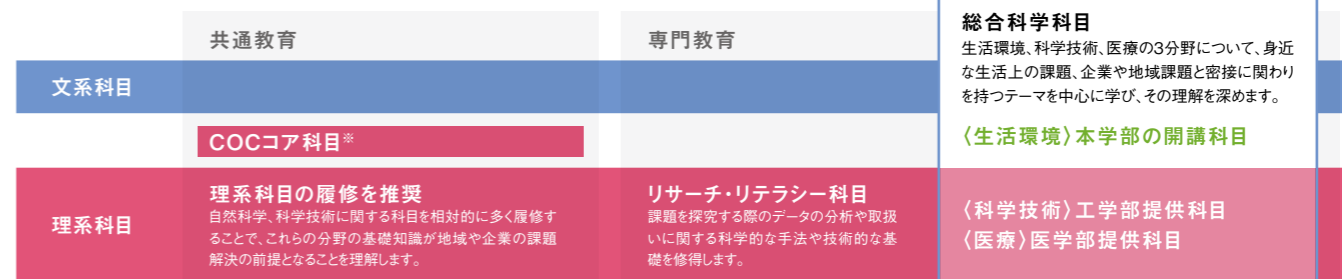
III. 文系・理系を超えた多様な学び



共通教育では、数学や自然科学、科学技術に関する科目を履修することで、これら理系分野の知識が、地域や企業の課題解決の前提となることを理解します。

課題を探究する際のデータの分析や取り扱いに関する科学的な手法や技術的な基礎を「リサーチ・リテラシー科目」として受講します。

医学部・工学部との連携により、地域の複合的な諸課題や、課題探求プロジェクト、専門科目等と関連性をもつ自然科学系の専門科目を「総合科学科目」として受講します。



*「COCコア科目」とは、地域の課題を体系的に学習する科目をいいます。(COC=Center of Community)

カリキュラム

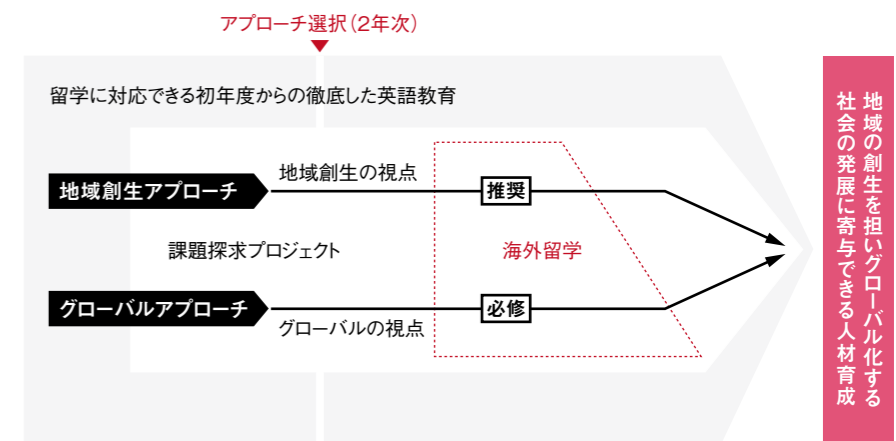
区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
専門教育科目																卒業研究【2科目】
共通教育科目																

*国際地域学部で開講される科目には、第1から第4クォーター(1クォーターは8週)からなる「クォーター制(4学期制)」と、前期と後期からなる「セメスター制(2学期制)」で開講されるものがあります。

【合計315科目】

2つのアプローチ

学習のプロセスにおいては、履修内容を固定化せず、共通の基本と柔軟な選択履修という仕組みを設けることによって、学生の主体的な学びと国際水準での教育を実現します。主にグローバルな視点から入る学び方(グローバルアプローチ)と主に地域創生の視点から入る学び方(地域創生アプローチ)の2つのアプローチを用意し、学生の興味に応じた柔軟な対応を行います。2つのアプローチの特徴は、海外留学について、グローバルアプローチは1学期間又は2学期間の海外留学を必修とし、地域創生アプローチでは1学期間の海外留学を推奨します。課題探求プロジェクトについては、中長期の海外留学を伴うグローバルアプローチでは留学期間に応じて弾力的に取り扱います。専門科目についても、アプローチに応じて履修の幅を持たせ、主体的な学びを可能にします。



STUDENT'S VOICE

「世界」を見渡す目を養い
身近な「地域」を掘り下げる

橋本 涼太 さん
国際地域学科 1年次
石川県立野々市明倫高等学校出身



英語に目覚めたのは高校時代です。中学の時は全くダメでした…。少し勉強を始めてみるとおもしろくて、いつしか得意科目に。今は、英語でのコミュニケーションや、言葉の使い方など初めて知ることや得るものが多く、興味深い毎日過ごしています。今は、英語以外に、スペイン語も独学で勉強中。アメリカではスペイン語系ヒスパニックの住民が増えており、言葉の重要度が上がっています。国際地域学部では、世界中で起きている事象を授業で取り上げ、語学と情勢のどちらも学びます。そのため、英語のラジオ放送を聞いて世界のニュースをチェックするようにもしています。また、世界という広い分野とは正反対に位置する「地域」についての学びも特徴です。福井に住む外国人が抱える問題では、日本語が話せないことで防

災訓練に参加できないなど、地域になじめないトラブルもあるといいます。また、福井市の活性化を考える授業では、空き店舗の利用や、県外からやって来た子育て中のお母さんが頼れる保育施設を考えています。グループワークを通して導き出した結論をプレゼンテーションする授業もあります。現在、福井で一人暮らしをしていますが、初めての土地での生活を通して、外国の方やお母さんたちの気持ちが少し理解できたようにも思います。自分の実感や調べたこと、聞いたことを合わせて深く考えられるようになったことも大きな経験です。この学部では、「国際」という広い分野と「地域」という自分の身近な分野、両方を学べます。広く見渡して、自分が深めたい学びをぜひ見つけてください。

PROFESSOR'S VOICE

今、求められる
グローバル対応力と地域創生力
を併せ持った人材に

伊藤 勇 教授
専門分野：社会学



国際地域学部は、グローバル対応力と地域創生力を併せ持ち、地域に貢献する人材を育てることを目的としています。*国際、と*地域、この2つのキーワードは、一見、まったく別世界の話に感じられるかもしれませんが、現代社会では地域にいながらでもグローバル化の影響をこうむります。例えば、私の専門は農村社会学ですが、日本の農業はWTO（世界貿易機関）やTPP（環太平洋経済連携協定）など、農産物の貿易自由化というグローバル経済の波をまともにかかっています。もはや、そうした影響を無視して日本の農業・農村を考えることはできなくなっています。グローバルに考える力を培う機会のひとつとして、海外留学の道が用意されています。交換留学協定

を結んでいる先はアジアの国が多く、学生たちはそこで英語力を磨くとともに、現地の社会や経済、文化などへの理解を深めることができます。そしてもうひとつ、実践的な学びと、課題を理解し分析する専門分野の学びを融合したカリキュラムも特徴です。地元の自治体や企業に学生を受け入れていただき、企業の海外進出における課題を調べたり、地域の活性化策を考えたり、商品化を企画したり。長期にわたって課題を探究し、提案をする実践的な学習です。教室の中にとどまらない多様なかたちで学び、実践を繰り返し模索すること、それは皆さんを大きく成長させるはずですよ。

[履修モデル] グローバルアプローチ

1年次	2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	海外研修		海外留学			
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A(2) 課題探求プロジェクト基礎B(2)	課題探求プロジェクトI(2)		課題探求プロジェクトIII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)	
大学教育入門セミナー(2)	国際地域概論(2)	ドイツ語I(1) ドイツ語II(1)			コミュニティと住民組織(2)	フロントランナー(2)
情報処理基礎(2)	English Reading III(1) English Reading IV(1)	英作文I(1) 英作文II(1)			まちづくり論(2)	文学にみられる女性(2)
英語I(1)・II(1)	English Writing III(1)	Academic English Reading I(1)			科学技術と環境(2)	
英語III(1)・IV(1)	English Writing IV(1)	Academic English Reading II(1)			卒業セミナー(1)	
英語V(1)・VI(1)	統計入門(2)	日本史概説(2)			卒業研究(6)	
英語VII(1)・VIII(1)	情報技術基礎(2)	コミュニケーションのための日本語教育論(2)				
TOEFL対策講座(1)		Academic English Writing I(1) Academic English Writing II(1)				
リサーチ入門(E)(2)	政治学概論(2)	経営学概論(2)	(例)20単位を認定*			
ライティングI(2)	経済理論(ミクロ)(2)	民法(総則)(2)				
現代社会とビジネス(2)	弁論法(2)	国際政治学(2)				
	異文化コミュニケーション(2)	比較文化論(2)				
		言語学入門(2)				
		教育における社会正義の問題(2)				
		留学セミナー(1)				

*留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

[履修モデル] 地域創生アプローチ

1年次	2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
			海外留学			
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A(2) 課題探求プロジェクト基礎B(2)	課題探求プロジェクトI(2)	課題探求プロジェクトII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)	
大学教育入門セミナー(2)	国際地域概論(2)	東洋史A(2)	東洋史B(2)		エネルギーと環境(2)	まちづくり論(2)
情報処理基礎(2)	English Reading III(1) English Reading IV(1)	コミュニティと住民組織(2)	中国語III(1) 中国語IV(1)		日本の学校教育(2)	日本海地域の自然と環境(2)
英語I(1)・II(1)	English Writing III(1)	中国語I(1)	中国語II(1)		ものづくり基礎工学(2)	資源エネルギー概論(2)
英語III(1)・IV(1)	English Writing IV(1)	データサイエンスI(2)	社会調査論(2)		地域情報システム(2)	卒業セミナー(1)
英語V(1)・VI(1)	統計入門(2)	コミュニケーションのための日本語教育論(2)	地域計画論(2)		福井地域の歴史(2)	卒業研究(6)
英語VII(1)・VIII(1)	法学概論(2)	経済理論(マクロ)(2)	地方自治法(2)		地域文化マネジメント(2)	
TOEFL対策講座(1)	政治学概論(2)	経済理論(ミクロ)(2)	産業地理学(2)		国際コミュニケーション論(2)	
リサーチ入門(J)(2)	経済理論(ミクロ)(2)	経営学概論(2)	経済政策論(2)			
スピーキングI(2)	弁論法(2)	民法(総則)(2)	国際政策(2)			
ジェンダー論(2)	異文化コミュニケーション(2)	行政法I(総論)(2)	比較文化論(2)			
		比較文化論(2)	留学セミナー(1)			

*留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

Campus Life

大学では勉強だけでなく、多彩なイベントも催されます。
仲間たちとの楽しい時間も大学生活の喜びのひとつです。

4月

新入生オリエンテーション
留学生オリエンテーション
入学式
新入生歓迎行事
定期健康診断(文京キャンパス)
前期授業開始
球技大会(松岡キャンパス)
新入生合宿研修(文京キャンパス)



5月

大学祭(文京キャンパス)
新入生合宿研修(松岡キャンパス)
定期健康診断(松岡キャンパス)
御遺骨返還式(松岡キャンパス)



6月

国際地域学部第1クォーター試験
小学校・中学校教育実習



7月

北陸地区国立大学体育大会



8月

前期試験(全学部)
国際地域学部第2クォーター試験
夏季休業
オープンキャンパス
インターンシップ
小学校・中学校教育実習(~9月)
西日本医科学生総合体育大会

9月

サークルリーダーシップトレーニング

10月

開学記念日(1日)
後期授業開始
きてみてフェア
医学部晩祭(松岡キャンパス)
合同慰霊祭(松岡キャンパス)
北陸三県大学学生交歓芸術祭
留学生オリエンテーション
就職ガイダンス
キャンパスイルミネーション
(文京キャンパス、松岡キャンパス)



11月

国際地域学部第3クォーター試験



12月

冬季休業



1月

後期試験(全学部)
国際地域学部第4クォーター試験
春季休業
医師国家試験
看護師・保健師・助産師国家試験



3月

学内合同企業説明会
学位記授与式



Bunkyo Campus Life Style

文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)



伊藤 彩 さん

教育地域科学部※3年次
仁愛女子高等学校出身

※教育地域科学部は平成28年度に教育学部、国際地域学部に変更しましたが、平成27年以前に教育地域科学部に入学した学生は現在も旧学部所属しています。

8:30



自宅からは電車で通学

県内にある実家から通っているの、早起きして電車に乗ります。最寄りの駅から徒歩5分で大学に着くので、通学は便利です。

9:30



経済政策論の授業

環境問題について、自治体や政府が行う政策を学んでいます。地域レベルの課題から国際的な課題まで、広い視野で考える力が身につきます。



開放感あふれる
窓際の席がおすすめ!



12:00



学食で友達とランチ

期間限定メニューやアイデアメニューが食べられるので、毎日通っても飽きません。好きなメニューを組み合わせることができるので、小食な人にも、たくさん食べたい人にもおすすめです。



美容にもバッチリ!
栄養バランスを考えた
定食に

学生生活のサポートが充実

学生支援センター



履修の相談や各種証明書の発行や、課外活動などもサポートします。

学生総合相談室



学業、将来、性格、人間関係など、あらゆる悩み相談に応えます。

13:30



授業の前に復習と予習

総合図書館1階のラウンジは飲食もOK。長時間の勉強で、疲れたときはゆっくり過ごせる場所です。

Aa Bb Cc

ブックショップ明日輪は
教科書や専門書だけでなく
雑誌や小説も充実しています



15:20



ゼミのグループワーク

地域の課題を分析し、解決策を探るアクティブラーニングを行っています。情報収集能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション力が身につきます。



文京キャンパスで
素敵なキャンパスライフを
送ってませんか



18:30



リーディング・ラウンジで英語の勉強

言語開発センター(LDC)のリーディング・ラウンジで読書。TOEICやTOEFLといった語学試験の問題集はもちろん、「オペラ座の怪人」や「タイタニック」など、あの有名な映画の小説版が英語で読めちゃいます。

16:15



国際課で留学相談

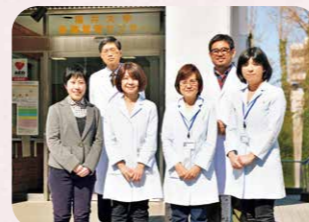
学生会館1階にある国際課では留学についての相談ができます。短期海外研修プログラムで行ったオーストラリアでは、「また行きたい!」と思える経験ができました。次はどこにしようかな。

学生数が多い文京キャンパスは賑やか! 大学生の1日は忙しいけれど、それだけに充実感もいっぱいあります。午前の授業を終えたら学食でおいしく栄養バランスの良いランチを。授業の合間には、自習室や図書館の利用もできます。福井市の中心部にあるキャンパスだから、友達とお茶や食事に出かけたりと、大学外での楽しみもたくさんありますよ。



詳しいキャンパスマップは
こちらからご覧ください。

保健管理センター



健康相談やカウンセリングなど、こころとからだの悩みをサポートします。

障がいのある学生及び 教職員のための相談室



病気・負傷や障がい等があることを理由とする、修学や大学生生活の相談に応えます。

全学での連携体制

学科、学務室、保健管理センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面など様々な相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

助言教員制度

キャンパスライフ全般の学生の様々な悩みに、教員が相談相手となり、指導、助言します。

BUNKYO CAMPUS CLUB & CIRCLE

文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)

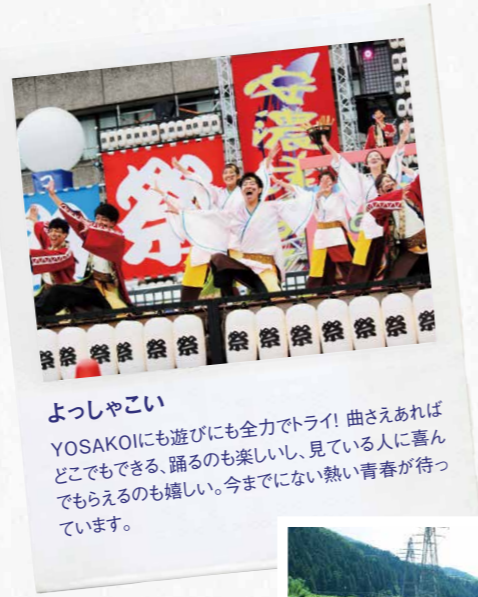
文化系・体育系あわせて多数のクラブやサークルを抱える文京キャンパス。
興味のあるクラブがあれば、ぜひチャレンジしてください。

体育系

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- FSDC(福大ストリートダンスクルー)
- FC Soleil
- カヌー部
- 空手道部
- 弓道部
- 福井大学競技スキー部
- 車椅子バスケットボールサークル
- クロケー部
- 剣道部
- 航空研究会
- 航空部
- 福井大学硬式庭球部
- 硬式野球部
- 福井大学サイクリングクラブ
- 福井大学サッカー部
- さる部
- シーズン・スポーツ・クラブ
- 福井大学ジャグリング同好会acRue
- 柔道部
- 福井大学準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 女子サッカー部
- 女子ソフトボール部
- 女子バスケットボール部
- 女子ラグビー部
- 水泳部
- スノーボードサークルSNOW
- スポーツコミュニケーション研究会
- ソフトテニス部
- 体操同好会
- 卓球同好会
- 卓球部
- 福井大学男子ソフトボール部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- ツーリングサークルRING
- テニス愛好会
- テニス同好会
- トータルフットボールズ
- 軟式野球サークル
- バドミントン部
- バレーボールサークル
- 福井大学バレーボール同好会
- ハンドボール部
- 福井大学フォーミュラカー製作プロジェクト
- フライングディスク部
- ボーシカボール
- 福井大学よっしゃこい
- RINE sports club
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

文化系

- Arts
- 福井大学アイマス研究会
- アカベラサークル ふれんど
- アコースティック and DJサークル Leggiero
- 囲碁部
- 映画部
- SF研&ゲーマーズクラブ
- 演劇部 E.C.ひなどり
- OSA & SPIE Student Chapter
- からくり工房, Sys
- 口笛音楽サークル ハッピーバード
- グリーンエコ合唱団
- ゲーム製作サークル Cre-one
- 福大コンピューター部
- 茶道部
- 児童文化研究会
- 写真部
- 福井大学将棋部
- 福井大学書道部
- 吹奏楽部
- 生物研究会「海栗(みくり)」
- 電子工学研究会
- 天文部
- 日赤青年奉仕団こころ
- 農業村応援隊
- ピース・クリエイターズ・クラブ
- 福井大学BBS (Big Brothers and Sisters movement) サークル
- 福井大学フィルハーモニー管弦楽団
- Fukui Play-Studio 遊房
- Free Music Club (FMC)
- 邦楽部
- Popular Music Laboratory (PML)
- ボランティアサークルTOGETHER
- 麻雀サークルMFC
- 福井大学漫画研究会
- Music Life
- ロック研究所



よっしゃこい
YOSAKOIにも遊びにも全力でトライ! 曲さえあればどこでもできる、踊るのも楽しいし、見ている人に喜んでもらえるのも嬉しい。今までにない熱い青春が待っています。



アコースティック&DJサークル Leggiero
アコースティックギターは、いつでも、どこでもすぐに演奏できます。アコギが中心ではあるけれど、DJを楽しんだり、他の楽器も演奏したりと、それぞれが自由にのびのび活動しています。



カヌー部
「カヌーボロ」という水上で行うハンドボールとバスケットボールを合わせたような競技をしています。「水上の格闘技」とも呼ばれる激しいスポーツです。2016年夏に行われた世界カヌーボロ選手権大会に出場しました。

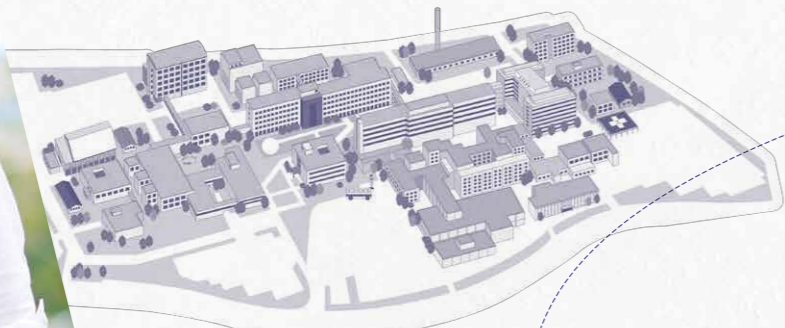


フォーミュラカー製作プロジェクト(FRC)
「全日本学生フォーミュラ大会」に向けて、フォーミュラカーを製作。大会のプレゼン部門では文系学生も活躍しています。協力して完成したマシンが走行するゾクゾク感はありません!



Matsuoka Campus Life Style

松岡キャンパス(医学部)



サウスウィック・トーマス・ハリソン さん
医学部 医学科 2年次
新潟県立新潟高等学校出身



10:15



自宅からは徒歩で10分

松岡キャンパスの近くにたくさんあるアパート群は通称「医大村」と呼ばれていて、多くの医学部生が一人暮らしをしています。徒歩10分圏内のところが多いので、朝はゆっくりできます。



学食はメニューが豊富!

13:35



栄養バランスを考えたボリューム満点のランチ



学食でランチ

主食や小鉢など、好きなものを選んでバランスよく食べることができるので、学食はおすすめ! 栄養面もバッチリです。

学生生活のサポートが充実

松岡キャンパス学務室



履修の相談や各種証明書の発行や、課外活動などもサポートします。

学生総合相談室



学業、将来、性格、人間関係など、あらゆる悩み相談に応えます。

11:40



画像解剖総合演習

医学の基本となる解剖学を連続した断層画像で学びます。将来の診療に直接つながる実践的な演習です。

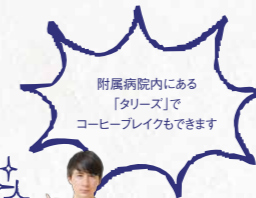
14:30



情報工房でグループ学習

医学図書館内にある、情報工房で友達と自習。グループで利用できるスペースなので、勉強会を開いたり、討論をしたり、いろんな用途に使えます。

Aa Bb Cc



附属病院内にある「タリーズ」でコーヒーブレイクもできます



16:00



コミュニケーションスペースで少し休憩

講義棟1階にあるコミュニケーションスペースはみんなの憩いの場。ゆったり座れるソファもあるので、つつい長居しちゃいます。



医師への道はまだこれから!

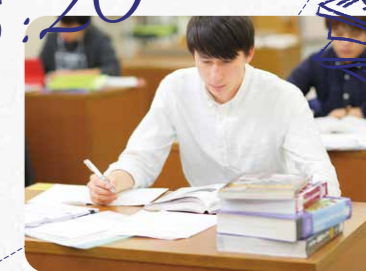
18:30



勉強の後はトレーニング

スケジュール・アクティビティ・プラザには誰でも使えるトレーニングマシンがあります。体育系の部活やサークル活動も活発です。

16:20



医学図書館で自習

24時間開いている医学図書館は、学生の強い味方。専門書も揃っているので、予習・復習もバッチリできます。



詳しいキャンパスマップはこちらをご覧ください。

医学部がある松岡キャンパスは、医学科と看護学科の学生たちが利用しやすい施設がたくさん。24時間利用できる専門の図書館をはじめ、メディアルームも完備。身体が資本の医師の卵のためにトレーニングルームがあり、学食には栄養をきちんと摂れるメニューも豊富です。キャンパス内にある附属病院には人気カフェ「タリーズコーヒー」もありますよ。近くに九頭竜川が流れる風光明媚な環境で、居心地のいいキャンパスです。

保健センター



健康相談やカウンセリングなど、こころとからだの悩みの解決に当たります。

障がいのある学生及び教職員のための相談室



病気・負傷や障がい等があることを理由とする、修学や大学生生活の相談に応えます。

全学での連携体制

学科、学務室、保健センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面など様々な相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

学年主任

キャンパスライフ全般の学生の様々な悩みに、教員が相談相手となり、指導、助言します。

MATSUOKA CAMPUS CLUB & CIRCLE

松岡キャンパス(医学部)

松岡キャンパスも部活やサークル活動が盛んです。
西日本医科学生総合体育大会で優秀な成績を収めるクラブも。
一度、のぞいてみてください。

体育系

- 弓道部
- 競技スキー部
- 競技スノーボードサークル
- 剣道部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 女子硬式庭球部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 水泳部
- 卓球部
- 男子硬式庭球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 伝統空手道部
- 軟式テニス部
- バドミントン部
- ハンドボール部
- フィッシングサークル
- フットサルサークル
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

文化系

- ア・カベラサークル MusicGlass
- 囲碁部
- ECS(English Conversation Salon)
- 華道部
- 管弦楽団
- 救急医療系サークルALFA
- グルメ部
- 軽音楽部M-ROCK
- 劇団くらげ
- 考古学inフクイ
- 茶道部
- 写真部
- 書道部
- 聖書研究会
- てつがくカフェ@ふくmedi
- 熱帯医学研究会
- 野ばら会
- 美術部
- ぶちぶら
- 文芸・漫画研究会



水泳部

医学部サークルで1、2を争う大所帯。「初級・中級・上級者」に分けたメニューで経験者がコース別に指導しているので、みんなメキメキ上達します。西日本医科学生総合体育大会(西医体)での上位入賞を目指しています。



陸上競技部

本格派の「競技ブロック」と、ちよい軽派の「ジョグブロック」に分かれているので、誰でも気軽に入部できます。普段の練習場所も違いますが、練習前に一度大学で集合したり、それぞれが出場する大会には応援に行ったりと、チームワークは抜群です。



救急医療系サークルALFA

ALFA (Advanced Life support Fukui Association) は、医学部の1~6年が参加している緊急医療のサークルです。一次救命処置(BLS)や2次救命処置(ALS)、外傷の応急手当の方法などが身につきます。他大学との交流も盛んです。



劇団くらげ

新入生歓迎会と暁祭(大学祭)で公演を行っています。脚本はほとんどがオリジナル。脚本を書いた部員が演出も担当し、役柄の心情など細かなところまで指示、役者は登場人物に入り込み、一緒になって世界観を創り出します。



ヨット部

海でヨットを操縦する練習と、松岡キャンパスでの「陸上でヨットを操縦する練習」があります。座学から始め、陸上で操縦方法を学んでから海にでますので、初心者でも安心して始められます。風を上手く捉えたときのスピード感や、沖に出たときの海の爽快感など、一度やったらやみつきになるかも。



国際交流・留学

活発な国際交流及び国際水準での教育・研究を推進し、世界的に優れた成果を発信することにより、高度専門職業人として地域の国際化及び豊かな国際社会づくりに貢献できる人材の育成を目指します。

学術交流協定数

(2018年3月現在)

34 国・地域
146 大学・機関

大学間交流協定: 78 大学・機関
部局間交流協定: 68 大学・機関

派遣実績

(平成29年度)

256 名の学生を派遣
(単位付与有のプログラム)



留学プログラム

短期留学

本学と学術交流協定を締結している海外の教育機関等で、1週間～3カ月程度の「短期海外研修プログラム」を年間40プログラム程度実施しています。学生一人ひとりが留学の目的や関心、外国語や専門分野の学習段階、将来設計等に合わせ適切な時期に最適なプログラムを選択して参加できるよう、多様なプログラムをレベル・内容別の6タイプに分類、体系化して提供しています。例えば学部1～2年時に語学研修型、3～4年時に専門分野型、修士1、2年時に研究・発表型など、福井大学での履修計画の一部として段階的にプログラムに参加することができます。



フィンドレー大学(アメリカ)

中・長期留学(交換留学)

交換留学協定のある学術交流協定校やUMAP加盟大学との間で、半年～1年間、相互に授業料不徴収で学生の派遣・受入れを実施しています。交換留学先では、専門科目の履修や課外活動への参加により、幅広い知識や多角的な経験を得ることが期待されます。2018年3月現在、17名の福井大学生が交換留學生として、北米・ヨーロッパ・アジアの学術交流協定校へ派遣されています。

官民協働海外留学支援制度

～トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム～

2020年までに留學生12万人を海外に送り出すという政策により設けられた政府と民間企業の協働型の留学支援制度により、2014年から2017年までに10名の本学学生を派遣しました。また、2017年には地域人材コースが福井県で採択され、地元支援企業からの助成を受けて、第7期生として1名の学生を派遣しました。

「留学プログラム」の詳しい情報は
こちらからご覧ください。

留学のサポート体制

留学についての情報提供

各プログラム説明会では、プログラムの内容や費用等の説明に加え、過去参加者の体験談発表の時間を設けています。具体的な説明や実際の参加者から体験談を聞くことで、イメージが膨らみ、参加意欲が高まります。また、海外留学や国際交流イベントに関する留学情報メールリストや国際課LINE@への登録により、随時最新の情報を得られます。

各種奨学金制度

本学が海外の大学等に派遣する学生のうち、学業成績、人物ともに優れている者に対して支給する給付型の「福井大学学生海外派遣支援金」(5～9万円)を受給できる可能性があります。また、日本学生支援機構海外留学支援制度や地方自治体の支援を受けて留学する学生も多く、比較的安価な費用で留学プログラムに参加することができます。

事前オリエンテーション

プログラムごとの出発前オリエンテーションに加え、同時期に出発する短期海外研修プログラムの参加者を対象に合同で事前オリエンテーションを実施しています。事前オリエンテーションでは、渡航準備や危機管理、大学指定の海外旅行保険の加入方法等について説明しますので、海外が初めての方でも安心してプログラムに参加できます。

外国人留學生の受入れ

福井大学では、外国人留學生の受入れを積極的に行っています。2017年10月現在、24カ国208名の留學生が正規生、交換留學生、研究生、科目等履修生として学んでいます。

語学センター

語学センターには、ESL/EFL/TESOL(英語教授法)の資格を保有した教員・インストラクターが在籍し、グローバルに活躍できる人材育成に向けた語学教育の充実や環境作りを進めてきました。CEFR-J(日本版ヨーロッパ言語共通参照枠)の基準を採用した個人インタビューと語彙テストによるプレースメントテストを導入し、習熟度別の少人数クラス編成による質の高い語学教育を行っています。

文京キャンパス

グローバル・ハブ

文京キャンパスのグローバル・ハブを拠点として、世界につながる各種の取り組みを行っています。グローバル・ハブには、ソファや雑誌、テレビを設置し、リラックスした雰囲気ですさまざまな交流や情報収集を行うことができます。また、松岡キャンパスでは、マルチラーニングスペース等を活用してイベントを実施しています。



文京キャンパスのラウンジ「グローバル・ハブ」は気軽に交流、情報収集できる場所です。

●語学学習・留学情報提供／各種イベントの実施

海外留学経験者・外国人留學生の学生スタッフが、海外留学や英語学習の疑問、質問にお答えします。また、各種資料も取り揃えています。また、日本人学生と外国人留學生の交流や、海外留学に関する情報提供、英語を実践する場の提供などを目的に、各種のイベントを実施します。

言語開発センター(LDC)での自主学習環境の提供

言語開発センター(Language Development Center: LDC)が文京キャンパスでは総合図書館2階に、松岡キャンパスでは医学図書館に整備されています。ここでは、外国語を個人やグループで自立的に学習するための様々な設備、教材が揃っています。



※U-PASS 学生チューターによる学修サポートセンター



個人語学演習室／多目的演習室

個人でもグループでも、学ぶ人数に適した語学演習室は、そのすべてが遮音室です。外国語検定試験やスピーキングリスニング対策ソフトを導入したパソコン、マイク付きヘッドホンを使い、周囲を気にせず学習できます。



DVDステーション

1,000本以上の洋画・邦画・ドラマ・ドキュメンタリー等各種DVDを視聴可能です。楽しみながらリスニング能力や、会話で使用する語彙力を高めることができます。



リーディング・ラウンジ

レベル別・分野別の外国語教材や、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策教材を2,500冊以上備えています。CDで音声聞けるものもあります。自宅からでもアクセス可能なe-Learningシステム(NetAcademy 2)も導入しています。外国語を自主的に学習するための最高の環境を用意しています。

松岡キャンパス

松岡キャンパスでは医学図書館内にLDCがあり、英語の図書やDVDの閲覧や自主学習に利用できます。DVDは100タイトル以上揃っており、英語・日本語の音声で視聴可能。遮音設備が整った個人語学演習室も設置されています。



就職サポート

就職に強い! 福井大学!!

高い就職率・定着率を誇っています!

高い就職率

国立大学 10年連続No.1

大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する卒業生1,000人以上の国立大学において10年連続1位。学部別の実績(2017年度卒業生)でも、高い就職率を誇っています。

学部別実就職率の実績 (2017年度卒業生)



高い定着率

企業から高評価

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は9.2%※1と全国平均(31.9%)※2に比べ、非常に低い数字となっています。この離職率の低さは、就職先の職場の雰囲気や人間関係が良好でミスマッチが少なく、また、給与・勤務時間・福利厚生などの労働条件が良い企業に就職できている証拠といえます。

在職3年以内の離職率



※1「福井大学の教育と卒業生についてのアンケート調査2016」
※2 2016年厚生労働省調査「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」

高い就職率・高い定着率を支える3つの柱

①積極的なキャリア形成

各学部では、社会に送り出す人材育成に力を入れた授業・実習などを積極的に取り入れています。

- 教育学部** 新しい学校教育を担う教員の養成
- 医学部** 日々進歩・変化する医療現場への適応能力を育成
- 工学部** 夢を世界でかたちにする技術者を育成
- 国際地域学部** 地域創生を担いグローバル社会の発展に寄与する人材を育成



②学生を支える充実した就職支援体制

全学を挙げて、全ての学生に行き渡る就職支援体制を構築しています。

- ・就職担当教員とキャリアカウンセラー、キャリアアドバイザーが内定までサポート
- ・大学独自のキャリアサポートシステムの提供

③きめ細かな就職支援活動の実施

年間を通じて60回以上のガイダンス等を開講しており、就職活動に慣れない学生の不安の解消に努めています。

- ・充実したキャリア支援講座の開講
- ・多くの企業との出会いの場の提供

キャリア支援室

キャリア支援室では、学生一人ひとりに応じたきめ細かな進路選択の支援を行っています。「納得のできる進路決定」に向けて、スタッフ全員でみなさんをサポートします。

個別相談

専門のキャリアカウンセラー、キャリアアドバイザーが支援します。就職活動中の不安は何でも相談できます。

本・雑誌閲覧コーナー

就職関連本や雑誌などが豊富に揃っており、自由に閲覧できます。

DVD閲覧コーナー

エントリーシートの書き方、集団面接、グループディスカッション等のポイントをDVDで分かりやすく解説します。

PCコーナー

福井大学キャリアサポートシステムを通じて大学に届いた求人票・パンフレットを検索・閲覧できます。



福井大学キャリアサポートシステム

福井大学独自の就職支援システムです。他大学の学生には得られない貴重な情報を入手できます。

- メールマガジン
- 学内ガイダンス動画
- 求人情報
- OB・OG就職活動体験記
- 就職相談等の予約
- インターンシップ情報

就職ガイダンス

年間を通じて60回以上のガイダンスを開催しています。開催時間・場所・内容等は学内の掲示板とメールマガジンでお知らせしています。

- 進路スタートアップ講座
- 自己分析講座
- エントリーシート作成講座
- 面接対策講座
- グループディスカッション体験講座
- 筆記試験対策講座
- 就活マナー講座
- メイクアップ講座
- スーツの着こなし講座
- 業界・企業研究講座
- 内定者による体験報告会
- SPI3模擬試験



企業説明会

多くの企業との、様々な出会いの場を設けています。

企業訪問

夏休み期間中に県内外の企業へ訪問し、職場の見学や卒業生との交流を行っています。就職活動が本格化する前に、様々な企業に触れることができます。

OB・OGとの懇談会

OB・OGの所属する業界・企業について、具体的な話を聞くことで、自分が働くイメージを掴めます。

学内合同・個別企業説明会

県内外の企業の人事担当や卒業生を招いて企業説明会を実施しています。特に個別企業説明会では、1社1教室・少人数でじっくり話ができるため、好評を得ています。

企業経営者との懇談会

福井県内の企業経営者との懇談会を定期的に開催しています。「熱い想い」に直接触れることができ、職業観・企業理解が深まります。

サテライトキャンパス

全国主要4カ所(東京、大阪、広島、福岡)に、就職活動がピークとなる3~6月の間、就職支援の拠点として設置しています。インターネットやコピー機の無料利用、荷物預かりや更衣室などのサービスを通じ、県外で就職活動する学生を支援しています。



教員採用試験対策

附属教育実践総合センターとキャリア支援室の共催で、様々なプログラムを準備しています。

- 論作文
- 教職教養(教育法規)
- 教職教養(教育心理)
- 教職教養(教育時事)
- 模擬試験
- 集団討論
- 志願書添削
- 模擬面接
- 二次試験直前対策講座 など

公務員試験対策

福井大学生活協同組合との共催で、学内公務員試験講座(有料)を10カ月にわたって実施しています。

- 数的処理
- 人文科学
- 社会科学
- 時事・社会政策
- 自然科学
- 文章理解
- 資料解釈
- 面接対策講座 など

卒業生メッセージ

教育学部

〆学習の根幹に関わる、国語という科目の重要性を伝えていきたい

岸名 孝明 さん

教育地域科学部 2015年卒業
大学院教育学研究科教科教育専攻 2017年修了
福井県立坂井高等学校 教諭

大学院を修了して初めて赴任したのが坂井高校でした。国語を教えています。本校は農業、工業、商業、家庭といった専門的な知識を学ぶ総合産業高校です。就職希望の生徒も多く、大学入試を前提とする普通科高校とは勝手が違うため戸惑うこともあります。まずは授業に興味を持たせることから、工夫を重ねています。教師を目指し始めたのは、高校生の頃です。国語は好きでしたが、いざ人に教えるとなると、どうすればいいのかと考えるようになり、福井大学に進みました。国語教育のゼミでは、国語が言語を介した自他との対話であり学習の根幹に関わる科目であるということ学びました。生涯にわたる言語生活や学びにおける国語の重要性について、少しでも生徒たちに伝えられたらと思っています。学部では教科専門を中心に学び、大学院では教師が授業中にどう生徒に介入し、支援するべきかというテーマについて研究しました。教員採用試験は学部時代に合格できましたが、友人と一緒に勉強することでともにレベルアップできたことが最大の勝因です。一次試験に通ったメンバーが集まり、2週間ぐらい缶詰になってひたすら

教育に関する議論を重ねたことは忘れられません。福井大学は、卒業しても大学に戻って、先生や先輩に助けを求めたり、一緒に勉強したりすることが比較的簡単にできます。教員生活を通じて、大学とつながり続けていけるところは、他にはない強みだと思います。本学に進む皆さんには、大学生活の中で多くの先生方や友人と出会い、刺激を受け、幅広い教養を深めてもらいたいですね。



学部の有志で集まり「Student Think Tank “風人倶楽部”」を立ち上げ、教育実習や教員採用試験の情報をまとめた冊子の発行にも携わりました。

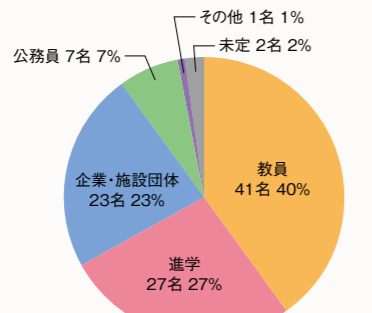
《学校教育課程》

主な大学院進学先

- 福井大学
- 仁愛大学
- 大阪教育大学
- 愛知教育大学

主な就職先

- 福井県公立学校教員
- 福井市役所
- 私立仁愛高等学校教員
- 石川県公立学校教員
- 福井県警察
- (株)ALL CONNECT
- (株)北陸銀行
- 福井県庁
- 福井信用金庫
- 兵庫県公立学校教員
- 愛媛県公立学校教員
- 横浜市教員
- (株)天晴データネット
- (株)福邦銀行
- 京都市教員
- 啓新高等学校教員
- 福井大学
- 坂井市役所
- 滋賀県公立学校教員
- 東京都公立学校教員



※「円グラフ」は2016年度卒業生データ(2017年5月1日現在)

《地域科学課程》

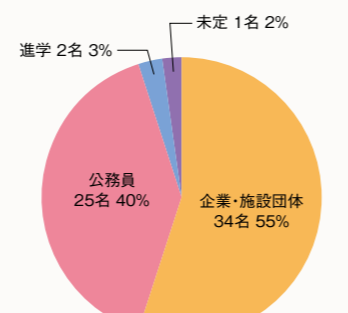
※2016年度より教育学部・国際地域学部に改組・再編の為参考

主な大学院進学先

- 福井大学
- 京都府立大学

主な就職先

- 福井県庁
- (株)福井銀行
- 福井市役所
- JA福井県五連
- (株)福邦銀行
- 越前市役所
- (株)商工組合中央金庫
- 坂井市役所
- 福井県警察
- (株)福井村田製作所
- 大野市役所
- アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)
- ゲンキー(株)
- 越前たけふ農業協同組合
- (株)アイジーイー
- 福井信用金庫
- 金沢国税局
- 損害保険ジャパン日本興亜(株)
- 福井労働局
- 福井車輛輸送(株)



※「円グラフ」は2016年度卒業生データ(2017年5月1日現在)

※主な大学院進学先および就職先は、過去5年間の集計データから多い順に掲載。

医学部(医学科)

若い子の命を救いたいとの思いが原点
〆前のめり、になれる選択を

新谷 万智子 さん

医学部 2014年卒業
福井大学医学部附属病院 産科婦人科 医員

私が医師を志したのは高校2年生のとき。一般的に考えると決定の時期が遅く、よく驚かれます。実は、幼いころからクラシックバレエを習っていて、将来の夢はバレエダンサーでした。高校時代にケガで整形外科に入院することになり、そこで同世代の骨肉腫の患者さんと出会い、「人を支え、命を救える医師はすごい仕事だな」と感動したのが医師を目指したきっかけです。そこから猛勉強をして1年間の浪人を経て福井大学医学部に入学しました。



現在、附属病院に勤務していますが、学生時代からお世話になった先生や仲間が周りにいるのは心強いです。仕事で迷ったり、判断が難しかったりするとき、どの先生を頼ってもきちんと対応してくださいませ。当直で深夜の2時、3時に困って電話をしても、どなたも快く相談に乗ってくださるので、すごく恵まれていると感じています。この温かな環境が福井大学の魅力ではないでしょうか。学生の皆さんには、大学生活でたくさんの人と出会ってほしいと思います。産婦人科医の道を選んだのは、初期研修で現場を経験してからです。医師を志したきっかけが「若い命を救いたい」との思いでしたから、命の誕生に向き合えるこの仕事はやりがいがあります。急患が多く忙しいイメージから、産婦人科を敬遠する傾向があるとも聞きますが、経験上、どの科の先生も、皆さんお忙しく働かれています。よく仲間同士でも話のですが、「大変だから」「楽そうだから」という目線での仕事の選び方は、余計につらくなるのでは。後輩たちには、「どちらにしても忙しいのなら、自分の好きな診療科、自分のやりたい診療科へ。“前のめり”になったほうが、人生は充実するし、楽しいんじゃないかな」と言ってあげたいです。



「医者になったら忙しいからと、学生時代は勉強のほか、バレエやアルバイトもしましたし、旅行にも数多く行きました」と笑う新谷さん。何事にも前のめりで取り組む姿勢は大学生活の賜物です。

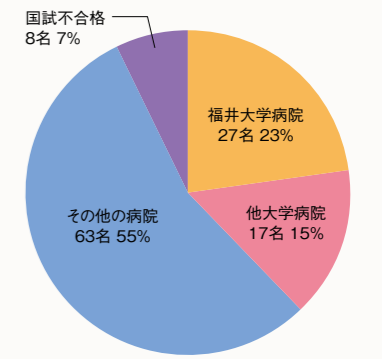
《医学科》

主な初期臨床研修先

- 福井大学医学部附属病院
- 福井県立病院
- 福井赤十字病院
- 福井県済生会病院
- 岐阜県総合医療センター
- 名古屋掖済会病院
- 木沢記念病院
- 横浜市立大学附属病院
- トヨタ記念病院
- 一宮市立市民病院
- 公立陶生病院
- 東京大学医学部附属病院
- 福井総合病院
- 名古屋市立大学病院
- 金沢大学附属病院
- 市立敦賀病院
- 春日井市民病院
- 小牧市民病院
- 名古屋第一赤十字病院
- 杉田玄白記念公立小浜病院

国家試験合格率(既卒者含む)

		本学	全国
医 師	H29	88.2%	90.1%
	H28	91.3%	88.7%
	H27	89.9%	91.5%



※「円グラフ」は2016年度卒業生データ(2017年5月1日現在)

※主な初期臨床研修先は、過去5年間の集計データから多い順に掲載。



医学部 (看護学科)

緩和ケアで、その人らしい生活、を支えるため、今も勉強を重ねています

小林 美貴 さん

福井医科大学医学部 (現:福井大学医学部) 看護学科 2007年卒業
福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 緩和ケア認定看護師
大学院医学系研究科修士課程看護学専攻 基礎看護学1年次

附属病院のがん診療推進センターは、がん診療の円滑な推進を図ることを目的とした施設で、11の部門で構成しています。そのうち、私は「緩和ケアチーム(外来)」「がん相談支援部門」「がん地域連携部門」の業務を担当。ほかに院内の緩和ケアシステムの構築、院内外の緩和ケアに従事する看護師などへの教育にも関わっています。

学生時代、印象深かったのは実習です。患者さんとゆっくり対話して、一人ひとりの生活を間近にすることができ、いろいろなことを教わりました。今はあの時間がとても貴重だったのだと実感しています。サークルでもアルバイトでも何でもかまいません。学生時代に社会のいろいろなところを見ておくことが、患者さんと接するときに役立ちます。

大学卒業後は附属病院の混合病棟へ。ここでの4年間はすごく濃密な経験でした。急性期と慢性期の様々な死に向き合う日々の中で、臨死期の対応に戸惑う自分がいました。そこから患者さんの生死にもっとしっかり向き合いたいと思うように。また、生き方に感銘を受けるがん患者さんとの出会いがいくつもあって、その中で看護師は何ができるのかと考えたことが、その後の道を決めた気がします。

出産と育児を経て、卒業後7年で緩和ケアの認定看護師になりました。それに伴い仕事の幅が広がると、見えてくるものが変わります。また、常に勉強していなければならないと感じ、大学院に通ったり、仲間と協力しながら勉強会を重ねたりしています。

忘れてはならないのは、緩和ケアの軸にあるのは、患者さんの心と体だけでなく、社会的な面もケアし、「その人らしい生活を支える」ということ。訪問看護を取り巻く状況や、患者さんが暮らす地域のことにも、きちんとアンテナを立てながら、活動できる場所を広げられたらと思っています。



「とにかく学生時代は、社会を見ることが大事。患者さんにはいろんな方がいるのでケアをする中で必ず役に立ちます」と小林さん。高い技術と知識が求められる「緩和ケア認定看護師」。大学時代の様々な経験が礎となっています。

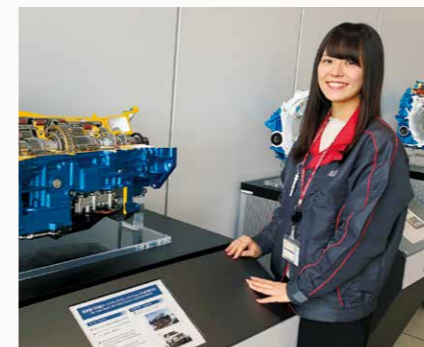
工学部

自分の仕事に誇りを持って日々前進
ル・マンの制覇に貢献したい

生井 美帆 さん

工学部材料開発工学科 (現:物質・生命化学科) 2016年卒業
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
技術本部 材料技術部 電動化材料開発グループ

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社は、自動車のオートマチックトランスミッション(以下AT)の専門メーカーで、AT生産累計世界シェアNo.1の企業です。私は、新たなHV・EVのコア技術となるモーターやインバーターの新技术や新材料の開発を目的とした部署「電動化材料開発グループ」に属しています。弊社・同グループ内には、「ル・マン24時間耐久レース」に出走するレーシングカーへこれらの技術と材料を提供するプロジェクトがあり、私は



そこでインバーターの設計材料に携わっています。配属後、大規模なモーターショーの見学に行くと、当社が部品を提供した車に多くの来場者が憧れの視線を向けている光景を目の当たりにし、自分の仕事に対してとても誇らしい気持ちになりました。在学中は、無機、有機、高分子および、環境にかかわる物質の合成や反応を基礎とした機能性物質や材料の開発について学びました。実は就職活動時、機械工学系の知識はありませんでした。しかし、金属の塊であるATを大学で学んだ高分子材料に置き換え、小型軽量化の可能性をアピール。大学での研究を面接でしっかりと生かし、希望通りの企業に入社できました。

今はまだまだ勉強中で、仕事をしながらたくさんの方を覚えている段階です。将来は自分で材料から開発し、そして設計した部品が製品化されるようにがんばっていききたいと思います。

これから進路を目指すみなさんには、「この知識がない…」と学科や専攻にとらわれず「自分がやってみたいこと」を第一にして、夢を実現してほしいと願っています。



同じ学科の友人と「材料女子会」を結成しておしゃべりした時間はいい思い出だとか。また、アルバイトを通じて磨いたコミュニケーション能力は、「社内でのミーティングや上司への対応に役立っています」とも。

《看護学科》

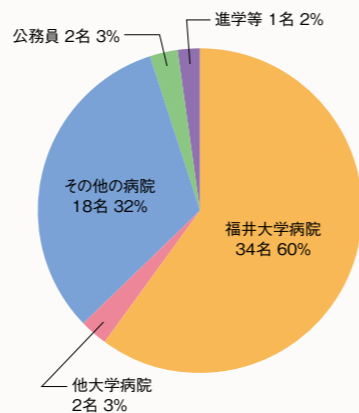
主な就職先

福井大学医学部附属病院
福井赤十字病院
福井県立病院
福井県済生会病院
京都大学医学部附属病院
名古屋大学医学部附属病院
金沢大学附属病院
大阪医科大学附属病院
小浜市役所
石川県立中央病院

名古屋第二赤十字病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
越前市役所
福井県庁
金沢赤十字病院
金沢大学医学部附属病院
国立病院機構あわら病院
国立病院機構金沢医療センター
神戸大学医学部附属病院
大津赤十字病院

国家試験合格率(既卒者含む)

	看護師	保健師	助産師
H29	100.0%	100.0%	100.0%
H28	96.6%	100.0%	100.0%
H27	98.4%	100.0%	100.0%



※「円グラフ」は2016年度卒業生データ(2017年5月1日現在)

主な大学院進学先

福井大学
名古屋大学
東京工業大学
奈良先端科学技術大学院大学
大阪大学
筑波大学
九州大学
京都工芸繊維大学
北陸先端科学技術大学院大学

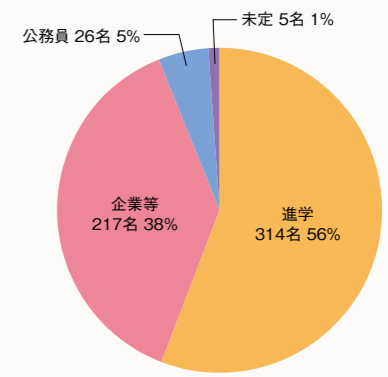
主な就職先

アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)
福井県庁
サーレン(株)
福井県警察
アイシン・エイ・ダブリュ(株)
(株)アートテクノロジー
(株)天晴データネット

西日本旅客鉄道(株)
福井市役所
豊田鉄工(株)
サカイオーベックス(株)
(株)エイチアンドエフ
(株)鯖江村田製作所
小林化工(株)
前田工織(株)
スズキ(株)
フクビ化学工業(株)
ポリマー化成(株)
(株)ビジュアルソフト
共同コンピュータ(株)
三谷コンピュータ(株)
トヨタ紡織(株)
(株)鴻池組
(株)大林組
住友電装(株)
(株)福邦銀行
三谷セキサン(株)

山金工業(株)
酒井化学工業(株)
大同工業(株)
日東シンコー(株)
福井システムズ(株)
KBサーレン(株)
(株)ネスティ
(株)メイテック
(株)モビテック
(株)柿本商会
(株)小松製作所
(株)長谷工コーポレーション
(株)不動産SHOPナカジツ
(株)富士通北陸システムズ
(株)福井銀行
江守商事(株)
清水建設(株)
石友ホーム(株)
中菱エンジニアリング(株)
中部テレコミュニケーション(株)

北陸電気工事(株)
矢作建設工業(株)
澁谷工業(株)



※「円グラフ」は2016年度卒業生データ(2017年5月1日現在)

学費・生活費・住まい・奨学金制度

学費 国立大学ならではの安い初年度納付金

福井大学の初年度納付金額(入学金と授業料の合計額)は817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

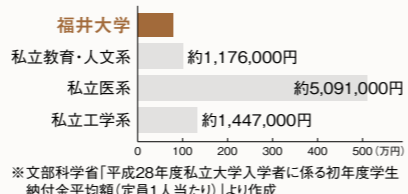
初年度納付金
817,800円
(入学金 282,000円、授業料 535,800円)

免除・猶予制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。
※免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

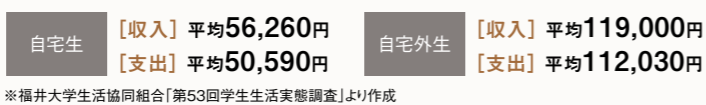
- 入学金免除制度** 入学金の全額もしくは半額を免除します
- 入学金徴収猶予制度** 入学金の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)
- 授業料免除制度** 授業料の全額もしくは半額を免除します

私立大学(初年度納付金の平均)との比較



生活費 福大生の1カ月の収入と支出(平均)

入学金や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1か月にかかる平均的な生活費をチェック!



住まい アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で初めて暮らす学生も安心のサポート体制が整っています。

福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

- 入居費用** 寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、光熱水料等約10,000円/月額、自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間) 共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリ100円/1回)
 - 居室設備** 机、椅子、吊り棚、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、空調機、時計、カーテン
- ※詳細は、学生サービス課学生企画係(TEL 0776-27-8403)にお問い合わせください。

アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、不動産会社の協力のもと、大学周辺のアパートや下宿のオーナーなど、住まいの紹介サービスを行っています。福井大学生生活協同組合(TEL 0776-21-2956)にご相談ください。

奨学金制度 学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、学費支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度があります。また、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度もあります。

福井大学基金予約型奨学金

福井大学入学後、修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金制度です。入試出願前に奨学金を申請し内定した受験生が、入試に合格し入学した場合、所定の手続きのうえ奨学金として正式に採用され、30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

※対象となる入試の種類については募集要項で確認してください。

福井大学学生修学支援奨学金

学部学生及び大学院生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学費支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学費支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学医学部同窓会「白翁会」国重奨学給付金

医学部医学科卒業生の國重昌彦先生が、学生時代、経済的に苦労した経験から、医学科へ進学希望し入学した者や在学生の経済的支援を目的に、医学部同窓会「白翁会」に寄附された基金をもとにした奨学金制度です。

① 入学支援金予約型

一般入試出願を予定し、入学に際し真に経済的に困窮している受験生に対する支援金です。入学し、所定の手続き後に、80万円を給付します。給付は、入学時1回のみで、返還の必要はありません。

② 修学支援金

真に経済的に困窮している医学科に在学学生への支援金です。原則として在学中1回のみ、50万円が給付されます。返還の必要はありません。

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与型の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たさない場合、申請できないことがありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

※なお、平成29年度より給付型奨学金も創設されました。

種類及び貸与月額

〈学部〉		
奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額(自宅通学者)】 最高月額 45,000円 最高月額以外 20,000円又は30,000円 【自宅外月額(自宅外通学者)】 最高月額 51,000円 最高月額以外 20,000円、30,000円 又は40,000円	無利子
第二種奨学金	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択	有利子(在学期間中は無利子)利率は固定型、又は見直し型より選択

〈大学院〉

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円	有利子(在学期間中は無利子)利率は固定型、又は見直し型より選択

日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

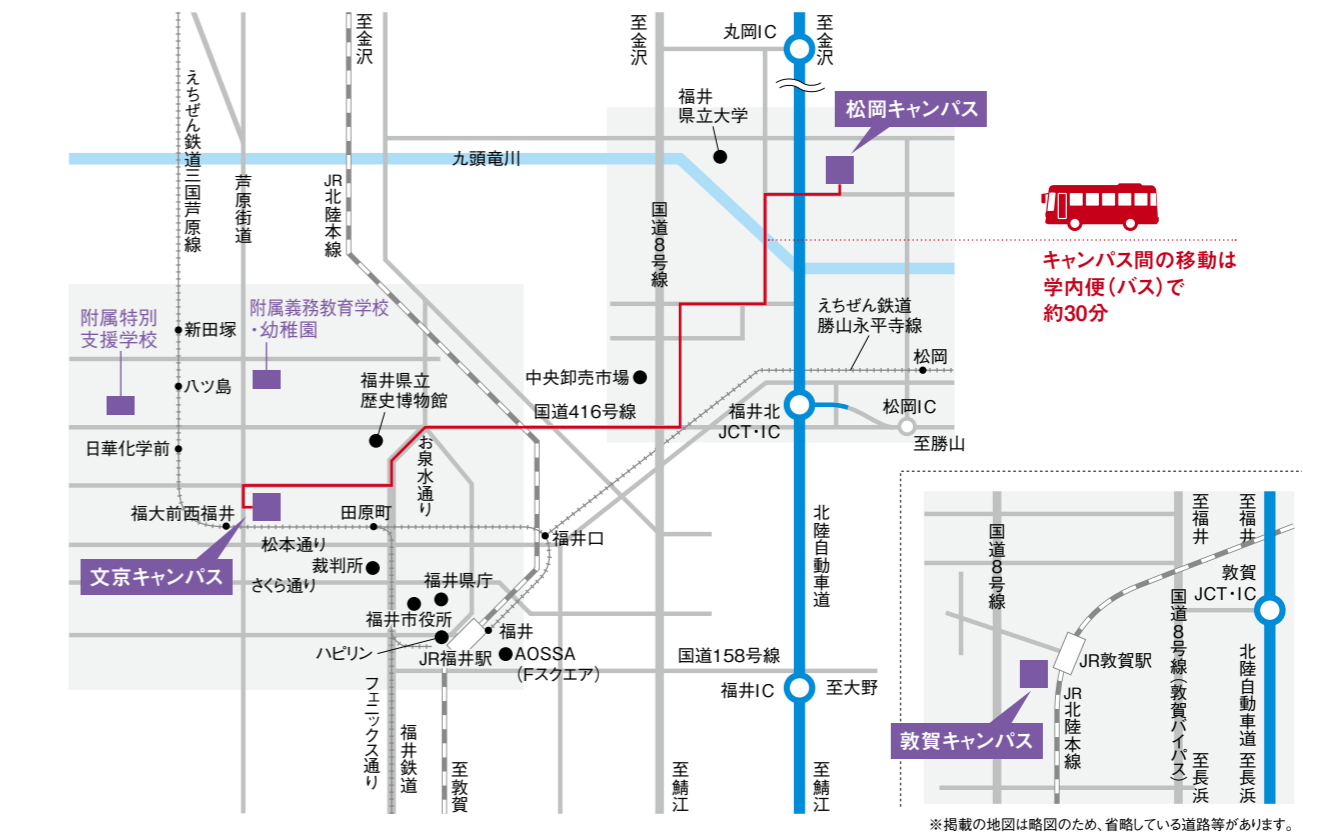
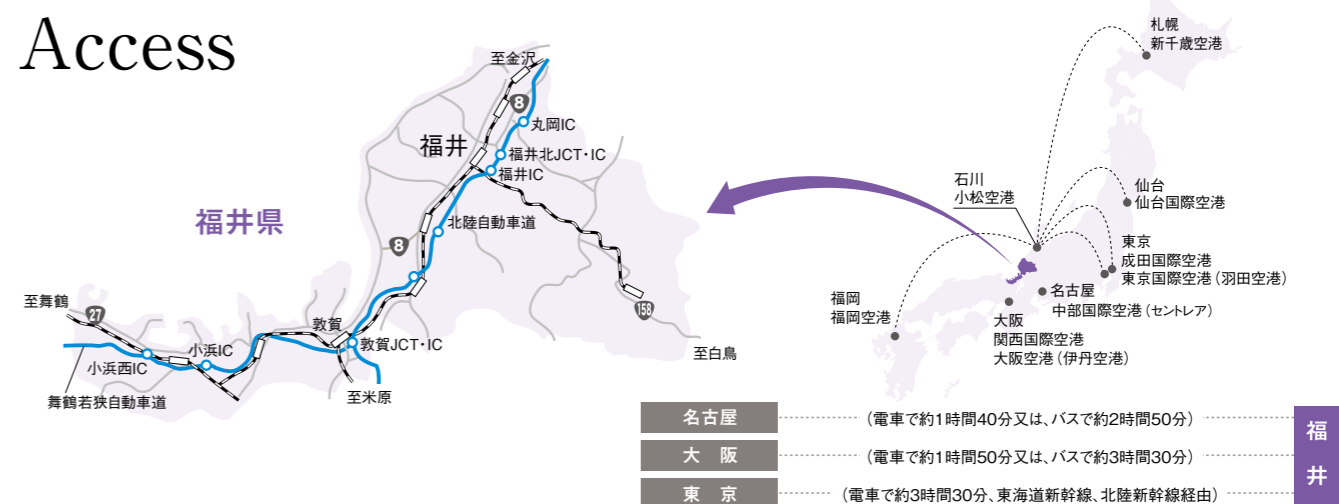
地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

大学の奨学金窓口(問い合わせ先)

文京キャンパス・教養キャンパス 学生サービス課(奨学担当) TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 TEL 0776-61-8266

Access



教育学部・工学部・国際地域学部

- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約10分)→福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗り] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- バス** 京福バス福井駅(約10分)→福井大学前停留所 [JR福井駅西口バスターミナル2番のりばより乗り]
- タクシー** JR福井駅(約10分)→福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北ICから国道416号線で西へ約7km または福井ICから国道158号線で西へ約8km

医学部・附属病院

- バス** 京福バス福井駅(約35分)→福井大学病院 [JR福井駅西口バスターミナル1番のりばより乗り]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約20分)→松岡駅(バス約5分)→福井大学病院 ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅(約30分)→福井大学松岡キャンパス [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北ICから北へ約4km、または丸岡ICから南へ約5km

※標識やバス停の一部に見られる「福井大学病院」「福井医大」も福井大学医学部を指します。

附属国際原子力工学研究所

- 鉄道** JR教養駅から徒歩で約3分
- 自家用車** 北陸自動車道 教養ICから教養バイパス 国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、教養街道・国道8号線で南へ約3km